

私たちのコード。  
私たちのつながり。  
私たちの成功。

倫理とビジネス行動規  
範に関する規程



## 目次

### 01 年月倫理とビジネス行動規範に関する規程（以下「オラクル・コード」） 02

最高幹部のメッセージ 03

私たちの中心的価値 05

私たちのコード 06

皆さんの役割 07

率直な発言 09

### 02 コードルール 11

反トラスト法・競争法 12

グローバル汚職・贈収賄防止法 15

不適切な支払いの禁止 15

贈り物、食事、および歓待 17

提供可能なビジネス上の接待 18

受領可能なビジネス上の接待 19

政府および公共部門の公務員等との交流 24

政府との契約 24

政府調達健全性の 25

組織的利害の対立（OCI） 26

元公務員等の雇用に関する制限 26

公務員等の議会工作 27

政治献金 27

個人の政治活動 28

他への影響 29

商取引コンプライアンス関連法令 34

経済ボイコットの禁止 37

証券およびインサイダー取引 39

知的財産 42

機密情報の保護 44

セキュリティ方針および慣行 45

プライバシーポリシー 45

ソーシャルメディア 46

利益相反 47

競合他社またはその他第三者についての情報収集 50

契約 52

支出および署名権限 52

オラクル・リソースの利用 54

財務上の健全性 55

情報公開 56

記録保存 58

慈善寄付 60

企業の社会的責任 62

### 03 オラクルとの関係 63

オラクルと社員 64

輸出入管理関連法 64

多様性 65

ハラスメント 66

安全とセキュリティ 67

環境と安全衛生 67

税金 67

オラクルと顧客 68

オラクルとパートナー 69

オラクルとサプライヤー 70

### 04 執行 71

調査プロセス 72

### 05 関連ポリシーおよびウェブサイト 74

### 06 リソース 77

# 最高幹部のメッセージ



**Lawrence J. Ellison**

創設者、取締役会議長、  
最高技術責任者



**Safra Catz**

最高経営責任者

オラクルの社員の皆さんへ

オラクルの社員として、皆さんは、世界各地にプレゼンスを有し、世界中の株主、顧客、パートナー、および政府からの信頼を獲得している組織の一部とし、影響力を持っています。オラクルは最低限の法的要求をはるかに超える倫理的ビジネスの価値を固守しながら、最高の製品とサービスを創造し、販売するために日々努力を続けることにより、事業分野におけるリーダーとなっています。

オラクルの倫理とビジネス行動規範に関する規程は、これらの中心的価値を定義し、その実践を促すオラクルの最も重要な文書の1つです。本コードは主要なルールを定め、ポリシーおよびリソースへのリンクを提供し、皆さんがオラクルのビジネス価値および自身の責任を理解する手助けとなります。本コードを注意深くすべて読了し、オラクルにおいて正しい判断を行うためのガイドとして頻繁に参照してください。

私たちは、皆さんが正しいことを常に優先して判断できるように手助けしたいと考えています。本コードは義務を理解することを容易にしますが、直面する可能性のあるすべての倫理的ジレンマを予想することができるというわけではありません。正しい行動方針が明確でない場合は、いつでもガイダンスを求めるようにしてください。質問、問題、または懸念事項がある場合には、上司、地域コンプライアンス・アンド・エクス・オフィサー、チーフ・コンプライアンス・オフィサー、または人事担当者と話をするか、またはインテグリティ・ヘルプラインを利用するようにしてください。オラクルは、誠意をもって問題や懸念を提起した社員に対する報復を黙認しません。

私たちの評判と成功は、オラクルの価値を理解してそれを支え、また商取引のあらゆる局面で倫理的に行動するために、私たち一人一人が果たす個人的責務に依存します。私たちは全員、雇用レベル、地位または地理的位置に関係なく、私たちのコードに定められたビジネス行動基準を支持するという責務を日々果たすことを期待されています。皆さんの支えによりオラクルが偉大な企業であり続けていることに対して、感謝します。

Lawrence J. Ellison

Safra Catz

# 年倫理とビジネス行動規範に関する規程

# 私たちの中心的価値

オラクルの倫理とビジネス行動規範に関する規程（以下、「オラクル・コード」または「本コード」）は、企業として成功するために不可欠なビジネス上の中心的価値を根底に置き、その実施を促進しています。私たちの価値は私たちすべての行動の基本であり、私たちは全員が、日々これらの価値を指針として行動することを期待されています。これらの価値を生み出す行動こそが、世界中の株主、顧客、政府、パートナーの信頼を獲得してきた、またそれにふさわしい企業を存続させ、長期的な成功へと私たちを導くのです。

私たちの中心的価値

## 誠実性

私たちは、すべての商取引において誠実であり、誠意ある選択を行います。

## 倫理

私たちは、あらゆるビジネス状況において倫理的に行動します。

## コンプライアンス

私たちは会社の代表として、オラクルのビジネスおよび社員の行動に適用されるすべての法規およびオラクル・ポリシーに従います。

## 相互尊重

私たちは、個人に対し敬意と尊厳を持って接します。

## チームワーク

私たちは、オラクルの利益のために1つのチームとして協働します。

## コミュニケーション

私たちは情報を効果的に共有するだけでなく、私たちの情報の機密性をいかに保護するかも知っています。

## 革新性

私たちは、問題解決に際して新たな創造的取り組みを導入し、解決を追求します。

## 顧客満足度

私たちは顧客満足を最優先事項として扱います。

## 品質

私たちは、私たちの業務に素晴らしさと質の高さを取り入れ、たえず改善に取り組んでいます。

## 公平性

私たちは、顧客、サプライヤー、パートナーおよび同僚を公平に扱います。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 私たちのコード

オラクル・コードは、最高水準の誠実性と倫理性を持って事業を行う方法を定義する基本的ルール集です。本コードは、すべてのオラクルの事業体に適用され、補足的であり、多くの場合、法令の遵守要件を超えています。本コードは、皆さんが職場で成功するのを手助けするために策定されています。世界中の株主、顧客、政府、およびパートナーとのオラクルの成功を継続するためには、商取引すべてにおいて皆さんが本コードを理解し、本コードを守ることができるかどうかにかかっています。

オラクルは、本コードを随時改定します。改定された場合、オラクルは皆さんにその旨を通知します。皆さんは新しいコードを確実に理解する責任があります。最新のバージョンについては、オラクルのコンプライアンスおよび倫理ウェブサイトにある本コードをオンラインで常に参照するようにください。本コード、オラクル・ポリシー、または適用される法律の解釈もしくは遵守に関して質問がある場合は、オラクルのコンプライアンス・倫理チームまたはオラクル法務部メンバーに連絡してください。

オラクル・コードは、オラクルの従業員、役員、臨時社員、業務受託者（派遣社員を含む）、アルバイト、個人契約者を含む、すべてのオラクルの社員またはオラクルにサービスを提供する仕事に従事する人に適用されます（以下、オラクル・コードでは簡便性のため、総称して「社員」といいます）。オラクルでの就業は、皆さんが所属する現地の組織が設けた条件に従います。それらの条件の一部として、皆さんは、本コードに定められているグローバル規準に従う必要があります。本コードの一部が現地法と抵触する場合は、現地法に従う必要があります。

一方、現地の商慣行が私たちのコードと抵触する場合は、私たちのコードに従う必要があります。オラクル・コードが現地の法律よりも厳しい場合は、私たちのコードに従う必要があります。管轄する政府当局により本コードのいずれかの規定が無効であると判断された場合でも、その他規定の権利行使可能性には影響を与えません。オラクルは、本コードを独自の判断で解釈することができます。

取締役会のみが、本コードの規定の権利を放棄することができます。規定の権利の放棄およびその理由は、速やかにオラクルの株主に開示されます。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 皆さんの役割

## 社員

オラクルは、すべての社員がコンプライアンスおよび倫理を最優先することを要求します。すべての社員は以下のことをしなければなりません。

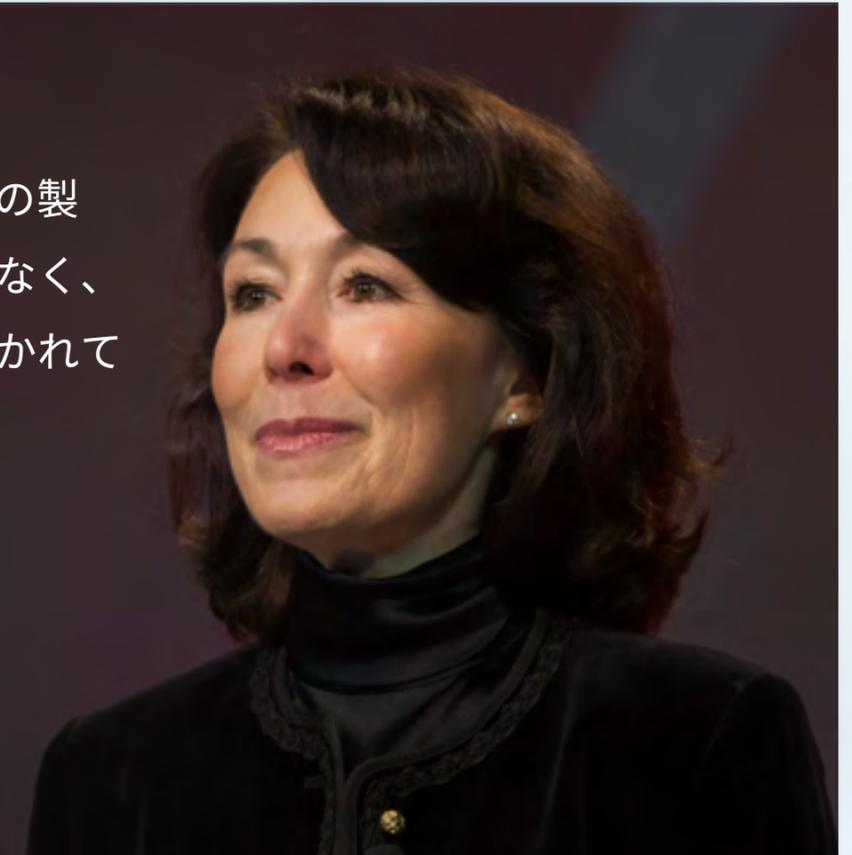
- ➡ すべての商取引において倫理的かつ誠実に行動する。
- ➡ 本コードおよびオラクル・ポリシーを理解しそれに従い、かつ法律を遵守する。
- ➡ オラクル・コード、オラクル・ポリシーまたは法律に関する違反の訴え、または潜在的もしくは実際の違反があれば、利用可能な報告手段を使って報告する。
- ➡ コンプライアンス調査に全面的に協力する。例えば、個人所有のデバイスを検査のために提供し（法的に許可されている場合）、調査時の質問に正直に答える。
- ➡ 履修要件であるコンプライアンス教育コースとその他のオラクル・コンプライアンス・倫理プログラムをすべて期限内に修了する。

“オラクルの成功は、私たちの製品／サービスの卓越性のみではなく、誠実性と公平な取引によって築かれています。”

**Safra Catz**  
オラクルCEO



ビデオをご覧ください。



レポート



コンタクト



ポリシー

## マネージャー

オラクルのマネージャーは、コンプライアンス・倫理のリーダーであらねばなりません。マネージャーは、いつでも、ルールを理解して説明し、常に誠実性を示すことができる手本でなければなりません。マネージャーは、コンプライアンス問題の報告を奨励し、報復を恐れることなく懸念を表明することができる環境、それを促す環境を構築しなければなりません。マネージャーは、次のことを実施しなければなりません。

- ➡ 本コードを学び、それを新入社員教育に活用するとともに、チームメンバーに対して、定期的にその基幹業務での本コードの適用方法について説明する。
- ➡ 常に誠実性を選択することを行動で示す。
- ➡ 直接または間接的にあなたに報告する社員が、履修要件であるコンプライアンス教育コースならびにその他のオラクル・コンプライアンス・倫理プログラムを確実にすべて期限内に修了するようにする。
- ➡ 直接または間接的にあなたに報告する社員が、コンプライアンス懸念の報告先と報告方法を確実に理解するようにする。
- ➡ ビジネス上の行動規範および倫理についての内容を含む質問を奨励するオープンドアポリシーを維持する。

- ➡ 社員が疑わしい行動に疑問を持ち、報告するのを奨励する。
- ➡ 社員が、報復を恐れることなくコンプライアンス懸念を表明し、報告できることを理解し、信じていることができる環境を構築する。
- ➡ マネージャーは、管理する社員の昇進または報酬を決定するにあたっては、当該社員のコンプライアンス研修修了の有無、ならびに倫理的行動および/またはそれに対する違反を考慮してください。
- ➡ 食事、軽食または娯楽の支出を承認するマネージャーは、申請された内容が費用的に合理的で適度であり、贅沢でも豪華でもなく、合法的なビジネス目的からみて妥当であり、受領者のビジネス判断に不適切な影響を与えるものでないことを慎重に注意深く確認しなければなりません。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 率直な発言

## コード関連の質問または懸念

オラクルは世界中で数千社に及ぶ事業体や個人の信頼を享受する世界的な企業としての決意を持っています。そのためには、私たちは、問題を迅速に解決し、是正措置をとり、あるいは必要な改善を行うことができるように、人事、事業、または運営上の問題の有無を理解しておく必要があります。私たちは、不正行為の申し立てを報告する複数のリソースを提供しており、必要に応じ、報告内容を審査または調査し、報告が立証された場合、懲戒処分その他是正措置を実施します。オラクルの社員として、皆さんは、本コードの違反がある可能性があるとして自ら誠意をもって確信する行為、さらにまた、オラクルまたはオラクルの社員の法的または倫理的義務の不履行を示すその他行為に関して、速やかに報告することを期待されています。オラクルは、申し立てが立証できなかった場合でも、誠意をもって懸念を報告した社員またはコンプライアンス調査に協力した社員に対する報復は黙認しません。

不正行為の懸念または申し立ての報告には以下の方法があります。

- ➡ 上司への報告
- ➡ 人事部への報告
- ➡ 法務チームメンバーへの報告
- ➡ 地域担当のコンプライアンス・アンド・エシクス・オフィサーへの報告
- ➡ チーフ・コンプライアンス・アンド・エシクス・オフィサーへの報告
- ➡ 社員代表者への報告（該当する場合）
- ➡ オラクル・インテグリティ・ヘルプライン（Oracle Integrity Helpline）

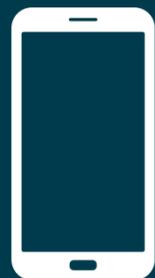
皆さんが、上司、オラクルの人事部、法務チームのメンバー、オラクルのコンプライアンス・倫理チームのメンバーに懸念を報告するにあたって匿名を希望する場合、あるいは不安に感じたりする場合、または皆さんの懸念が適切に対応されていないと思われたりする場合には、オラクル・インテグリティ・ヘルプラインに電話をしてください。ヘルプラインは第三者のサービスプロバイダーにより運営されており、オンラインまたは電話での報告が可能です。ヘルプラインは機密扱いで、懸念を提起するまたは倫理およびビジネス行動規範に関する問題についてのガイダンスを求めるすべてのオラクルの社員が利用することができます。



ヘルプラインは、すべての社員に無料であり、24時間態勢で年中受付を行っています。ヘルプラインでは、英語以外の言語で話したい場合には、通訳を提供しています。

電話での報告を提出される場合、800-679-7417のヘルプラインに電話してください。EU諸国の施設または社員に関する報告を提出される場合には、866-455-1215のEUヘルプラインに電話してください。米国以外から電話する場合には、上記いずれの番号に電話する場合も、最初に国のアクセス番号を入力し、応答があってから該当するヘルプラインの電話番号を入力してください。

インテグリティ・ヘルプラインは通話の記録や追跡をしません。またID追跡技術も使用していません。現地の法律で許可される場合、ヘルプラインでの電話かオンラインでの報告提出かにかかわらず、匿名性を保つことができます。特定の法域では、ヘルプラインを通じて匿名で報告できる内容が制限される場合があります。オラクルのプロセスでは現地での制限が考慮されていて、社員に特別なルールが適用される場合には、社員に警告を出すように設定されています。



米国ヘルプライン：800-679-7417

EUヘルプライン：866-455-1215

電話を介してヘルプラインに事例を報告するときには、オペレーターが、懸念の詳細について質問して通話内容を文書化します。その際、報告番号を受け取ります。この番号は、詳細を追加する場合や報告の状態を確認する場合に使用することができます。懸念を提起する際には、関与する当事者、関連する日付、問題となる具体的な行為等、できるだけ詳細な情報を提供してください。機密性その他の理由により、オラクルは一般的に社内調査の詳細を開示していませんが、調査が終了したかどうかを知るためにヘルプラインに連絡をとることはできます。

すべての報告はオラクルの社内プライバシーポリシーに従い処理されており、その状況はオラクル法務部ウェブサイトで閲覧することができます。



# コードルール



# 反トラスト法・競争法

通常、オラクルが事業を行っている国には、一般に反トラスト法または競争法と呼ばれる違法な取引制限を禁止する法律や規制があります。これらの法令は、不公正な商慣行から消費者や市場を保護し、健全な競争を促進し保護するように設計されています。オラクルは、適用される世界中の反トラスト法および競争法の遵守に取り組んでいます。

反トラスト法または競争法は国により異なりますが、一般に、これらの法律は、消費者に有益な効果をもたらすことなく競争を低下させるような合意または行為を禁止しています。一般に反トラスト法または競争法に違反しているとされる行為には、以下の競合会社間の合意または申し合わせがあります。

- ➡ 再販業者の顧客向け価格を含む価格の修正または管理
- ➡ 契約を特定の競合企業または再販業者に誘導するための、入札の組織化もしくは調整または反競争的な価格操作（入札談合）
- ➡ 特定のサプライヤーまたは顧客のボイコット
- ➡ 市場または顧客の分割または割り振り
- ➡ 競争を阻害する目的で製品の生産や販売または製品ラインの制限



レポート



コンタクト



ポリシー

前述のような合意は公序良俗およびオラクル・ポリシーに反します。私たちは、オラクルのパートナーを含む他社の担当者と前記のような事項を協議してはなりません。かかる協議が社員または第三者から持ち出された場合は、オラクル法務部に速やかに報告してください。排他的取引、抱き合わせ販売、価格差別、またはその他の販売条件に関する契約その他取り決めは、適用される反トラスト法または競争法により違法となる可能性があります。オラクル法務部の承認を得ることなく、かかる合意をしないでください。独占販売権証明書の発行要請または一般入札書類作成への社員の関与は一般に禁止されています。本件に関する追加審査および承認に関しては、オラクル法務部に確認してください。

オラクルはまた、私たちのグローバルな慣行が米国の反トラスト法に準拠するように努めています。米国への輸入および米国からのからの輸出を含む私たちの国際間での営業活動および取引に対しては、現地法に加えて、米国の反トラスト法が適用されます。

オラクルは、世界各地の業種および顧客をカバーする幅広いパートナーネットワークを構築しています。オラクルは、私たちのパートナーにすべての適用法を遵守させるように取り組んでいます。この目的を支えるために、オラクルは、選定地域における特定取引の審査を強化しており、また、反トラスト法を完全に遵守する一方、贈収賄防止コンプライアンスの目的に必要なエンドユーザーに関する文書および情報を入手する場合があります。不正な追加的開示から情報を保護する義務を持った認定非営業担当者だけが、これらの文書や情報を収集し、それにアクセスすることができます。

反トラスト法および競争法は複雑ですので、関連する問題については、オラクル法務部に助言を求めてください。



レポート



コンタクト



ポリシー

質問と回答：

## 反トラスト法・競争法

**1** 質問：事業者団体の会合で、皆さんはオラクルの競合他社の非公式グループが将来の製品の価格設定について話し合っているのをふと耳にしました。競争に役立つ情報を得るために会話に参加してもいいですか？

回答：いいえ。オラクルは正直にかつ公正に競争します。価格設定、サプライヤーや顧客との関係、市場の割り当てなどの事項に関して、競合他社と話し合いや情報交換することは違法であるため、全て避けなければなりません。直ちにそのような話し合いからはずれて、その出来事をオラクル法務部門に報告してください。

**2** 質問：あなたが頻繁に接触しているパートナーがこれから行われる入札プロセスに関して、3社からの競争入札が必要であり、その要件を満たすための「形だけの入札」をしてもらえないかと相談してきました。このパートナーを助けるために入札していいですか？

回答：いいえ。オラクルのパートナーはしばしば当社の競争相手でもあり、オラクル社員はいかなる場合にも、他の競争入札者と協力することにより入札プロセスの結果の操作に関与してはなりません。禁止行為には、落札者を持ち回りとする事や他の入札者の利益となるような非競争的な入札を行うことが含まれます。直ちにそのような話し合いからはずれて、その出来事をオラクル法務部門に報告してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

# グローバル汚職・贈収賄防止法

オラクルは、誠実に事業を行うことを信条としており、商慣行の透明化に取り組んでいます。私たちは、オラクル事業に関連する汚職や贈収賄に対して一切黙認しません。皆さんは、米国海外腐敗行為防止法（FCPA）や英国贈収賄防止法等の腐敗行為防止関連法を、私たちが事業を行っているすべての国で遵守しなければなりません。

オラクルはまた、私たちのパートナーに贈収賄防止および汚職防止法等のすべての適用法を遵守させるように取り組んでいます。この目的を支えるために、オラクルは、選定地域における特定取引の審査を強化しており、また、反トラスト法を完全に遵守する一方、贈収賄防止コンプライアンスの目的に必要なエンドユーザーに関する文書および情報を入手する場合があります。不正な追加的開示から情報を保護する義務を持った認定非営業担当者だけが、これらの文書や情報を収集し、それにアクセスすることができます。

## 不適切な支払いの禁止

私たちは賄賂の提示または支払いを行いません。皆さんは、事業またはその他の利益をオラクルまたはあなた自身のために不適切に取得するために、賄賂、キックバック、金銭または有価物の提示、約束、承認、指示、支払い、提供、または受領を（直接か間接的にかかわらず）行うことを禁止されています。FCPAおよびその他の同様な国際腐敗行為防止関連法は、贈収賄を非合法としています。

これらの法律違反に対する罰則は厳しく、個人的にあなたに対する懲役刑および高額な罰金が含まれる場合があります。

## 上記禁止は次の者への支払いが対象となります。

- ➔ 公益事業、高等教育、公的医療機関、国際公共機関およびそれぞれの公務員等を含む、政府および公共部門
- ➔ 政党または公職の候補者
- ➔ 政府関連機関により全部もしくは一部が所有または支配される事業体（しばしば国有企業という）およびその公務員等
- ➔ 個人所有の商事会社およびその従業員
- ➔ オラクルの社員
- ➔ その他の第三者

さらに、オラクルは、不法に取得した資金を偽装したり、チャネリングしたり、かかる資金を正当な資金に転換したりするあらゆる形態のマネーロンダリングを禁止しています。



レポート



コンタクト



ポリシー

オラクルは、政府または国有企業の公務員等の行動もしくは決定に影響を与えたり報酬を渡したりすることを目的として、あるいはオラクルが不適切な利益を得るために、政府または国有企業の公務員等、またはそれらの配偶者、重要な他者、子供、もしくは他の縁者に対して直接または間接的に金銭もしくは有価物を与えることを禁止しています。「有価物」とは広義な意味を有し、金銭だけでなく、贈り物、贅沢なまたは過度の歓待、観光等の個人旅行の資金提供、慈善団体への寄付、雇用機会の提供等が対象となります。オラクルはまた、申請書の処理および許可書の承認を含む、政府の日常業務をスピードアップまたは迅速化するために公務員等への支払いを行うという円滑化または円滑化のための支払いも禁止しています。

詳細は、コンプライアンス・倫理ウェブサイトに掲載されているオラクルの「グローバル腐敗防止ポリシー」(Global Anti-Corruption Policy) および「ビジネス上の接待に関するガイドライン」(Business Courtesy Guidelines) (以下、総称して「腐敗防止ポリシー」) ならびに「政府との取引に関する補足ポリシー」(Supplemental Policy on Dealing with Government) を参照してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 贈り物、食事、および歓待

オラクルは、正当な業務上の必要経費および第三者への一定の贈り物に対し支払いをすることができます。ただし、その用途が、不正な目的を有さず、オラクルの腐敗防止ポリシーに従っている場合にに限られます。オラクルの腐敗防止ポリシーは、オラクルがFCPAおよび英国贈収賄防止法を含む適用される腐敗行為防止関連法を遵守できるように具体的なガイドラインを提供しています。

政府機関および国有企業に対しては、オラクル等の企業からその公務員等が歓待、食事、物品、心付けその他の有価物を受け取ることができる権能に関して、厳しい法律および規則が適用されています。これら事業体の公務員等との取引においては、一切の有価物の提供をしないというのがオラクルの一般的ポリシーです。適用される制限付きの例外については、「腐敗防止ポリシー」および「政府との契約および公務員等との取引に関する補足ポリシー」(Supplemental Policy on Government Contracting and Dealing with Government Officials and Employees)に記載されています。非政府機関に関しては、このコードの「提供可能な接待」の項を参照してください。ご質問があれば、コンプライアンス・倫理チームのメンバーにご連絡ください。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 提供可能なビジネス上の接待

非政府機関の相手との商談に関連した食事、軽食、歓待、およびイベントへの出席機会の提供は、これらの接待の提供が受領者側の組織の方針、顧客との契約上の合意、オラクルのグローバル出張・経費に関するポリシー、または腐敗防止ポリシーに違反するものでない限り、適切である場合があります。皆さんには、このような基準、契約、およびポリシーに精通し、それを遵守する責任があります。

オラクルは、いかなる個人、会社または事業体に対しても、不正にビジネスを勧誘する手段として、直接または間接的に有価物（慈善目的の寄付またはイベントのスポンサーシップを含む）をすることを禁止しています。

食事、軽食もしくは歓待の支出を要求または承認する社員は、申請された内容が費用的に合理的で適度であり、贅沢でも過多でもなく、合法的なビジネス目的からみて妥当であり、受領者のビジネス判断に不適切な影響を与えるものでないことを慎重に注意深く確認しなければなりません。

政府および国有企業の公務員等との取引に関するオラクルの基準および適用される法律は、一般企業の従業員に対する基準より厳しくなっています。公務員等との取引においては、対象となる個人に一切の有価物を提供しないというのがオラクルのポリシーです。適用される制限付きの例外については、「腐敗防止ポリシー」および「政府との契約および公務員等との取引に関する補足ポリシー」に記載されています。皆さんは、交流がある政府機関のルールおよび規則に精通しておく責任があります。政府との活動および交流に関して質問がある場合は、コンプライアンス・倫理チームにお問い合わせください。

いずれにしても、ビジネス上の接待は、受領者の判断に影響を与える、不正に優先的な取り扱いを確保する、または不適切な利益を得るためと思われぬように少額なものでなければなりません。適切なビジネス上の接待と言えるかどうかの最終判断は、法律で許可されていたとしても、それが公となった場合にオラクルまたはその受領者にとって困惑するような事態になるか否かにかかっています。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 受領可能なビジネス上の接待

現在のもしくは潜在的な顧客、サプライヤー、またはその他のビジネスパートナーから、要請していない贈り物その他のビジネス上の接待を提示された場合、それが合理的で適度な内容および金額であり、明確で合法的なビジネス上の目的であることが明らかな場合、またはビジネス上の判断に影響を与える目的で提供されたものでない限り、それを受け取ることはできます。さらに補足すれば、これらの接待を受け入れることにより、何らかの義務感を持ったり、他方の当事者が何かの見返りを期待したりするようなものであってはなりません。直接または間接的に、これらの接待を求めることは、決して適切ではありません。贈り物やその他のビジネス上の接待を受け入れる前に、それが現地の法律で許可されている内容かどうかについても確認する必要があります。多くの国では、民間企業の従業員の間であっても、交換される可能性のある贈り物に制限が課されています。特定の国の法律については、コンプライアンス・倫理チームにお問い合わせください。

オラクルは、世界には、贈り物の提供が一般に受け入れられている慣習が存在する地域もあること、および贈り物を拒否することはオラクルに良い影響を与えない場合があることを承知しています。しかし、そのような場合であっても、本コード、オラクルの腐敗防止ポリシーおよび関連するすべての現地法を遵守しなければなりません。書面による承認が必要な状況等に関する追加情報については、オラクルの「腐敗防止ポリシー」を参照してください。

通常のビジネスの打ち合わせに関連した状況において適切と考えられる食事、軽食またはその他の歓待については、問題はないと思われます。繰り返しますが、それが皆さんのビジネス上の決定に影響を与えることを唯一の目的として提供される場合には、かかる厚意を受けることは適切ではありません。オラクルとの取引を行っているまたはそれを希望している個人もしくは会社が、適度で日常的とはいえない、またはオラクルの腐敗防止ポリシーおよび接待に関するガイドラインに規定される指針から外れた歓待を申し出た場合には、書面による承認が必要となります。このような歓待を受け入れるにあたっての必要な手続きと承認について理解するには、「腐敗防止ポリシー」および「ビジネス上の接待に関するガイドライン」を参照してください。私たちはすべて一人一人が、ビジネス上の接待、贈り物、または歓待の受け入れが適切なものであり、かつ、有利な取り扱いを受けようとしているようには合理的に認められないことを確認する責任があります。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 質問と回答：

## 世界の汚職防止および贈収賄防止法—不適切な支払の禁止

- 1** 質問：あるオラクル・パートナーは、私が求める追加割引の一部を政府顧客の調達担当職員の海外観光旅行費用に充当することに同意しました。このような割引を求めていいですか？
- 回答：いいえ。この旅行の費用の支払にオラクルの資金を使用することは不適切です。同様に、パートナーが割引を通じて生み出された「マージン」を使ってこれを行うことも不適切です。このような行為は、旅行の性質、参加者およびその結果オラクルが取引を維持または取得したかどうかによって、関与する会社および個人が刑事責任および民事責任を問われ処罰の対象となる贈賄とみなされる可能性があります。
- 2** 質問：オラクル・パートナーが、大手顧客がパートナーのサービスと製品を購入するのを奨励することと引きかえに、私にパートナーのマージンの何割かを提供すると言ってきました。そのような支払いを受け取ることはできますか？
- 回答：いいえ。それはキックバックです。キックバックはオラクルの行動規範および腐敗行為の禁止ポリシーならびに各国の現地法および国際法で禁止されています。オラクルの行動規範と腐敗行為の禁止ポリシーは公共団体との取引と私的団体との取引の両方に適用されます。

- 3** 質問：政府「コンサルタント」を標ぼうする者が、政府契約の価値の10%の成功報酬と引きかえに、政府との重要な取引を確保することにつきオラクル販売員を援助することを提案しています。この社員はこの支払いに同意してもいいですか？
- 回答：いいえ。オラクル社員は、政府その他の公共部門の従業員・職員に直接または第三者を介して間接的に金銭または価値のあるものを提供または渡すことを禁じられています。この禁止事項は、一般的に成功報酬の使用や未承認もしくはその場限りのコンサルタントの利用を含みます。政府との取引の取得、調達、または締結するために第三者セールス・コンサルタントを雇う前に、コンプライアンス・アンド・エシクスに相談してください。



## 質問と回答：

## 世界の汚職防止および贈収賄防止法—贈答、食事および接待

- 1** 質問：政府高官の一行がオラクルの施設を親善訪問しています。この訪問の間、私は政府高官たちにオラクルのロゴマークの入ったコーヒーカップ、ペン、Tシャツ等の記念品を贈呈したいと思っています。これはオラクルのポリシーに反しますか？
- 回答：それは贈答品の価値および過去1年間にこの顧客に他の記念品が贈答されているかどうかによります。オラクルのポリシーでは、適用される法律およびオラクルのポリシーで認められている場合を除き、価値のあるものを政府職員に贈ることを禁止しています。適切な行動を判断するためには、本規範およびオラクルの腐敗行為の禁止ポリシーの「提供することが認められるビジネス儀礼」セクションを参照するとともに、コンプライアンス・アンド・エシクスに相談してください。
- 2** 質問：公立大学の学部長とディナーを共にしてオラクルのテクノロジーがどのように大学に役立つかを話し合いたいと考えています。このディナーを私が支払っていいですか？
- 回答：それはディナーの価値および過去1年間にこの潜在的顧客に他の価値のあるものが贈答されているかどうかによります。公立大学の従業員は政府職員であり、オラクルのポリシーでは、適用される法律およびオラクルのポリシーで認められている場合を除き、価値のあるものを政府職員に贈ることを禁止しています。適切な行動を判断するためには、本規範およびオラクルの腐敗行為の禁止ポリシーの「提供することが認められるビジネス儀礼」セクションを参照するとともに、コンプライアンス・アンド・エシクスに相談してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

質問と回答：

## 世界の汚職防止および贈収賄防止法—提供することが認められるビジネス儀礼

- 1** 質問：3日間のイベントにおけるパネルディスカッションの参加者として民間セクターの顧客を招待することを計画しています。このパネルディスカッションではその顧客がオラクルのテクノロジーを事業でどのように活用しているかについて話してもらい、イベント参加者の中の見込顧客およびその他の顧客からの質問に答えてもらう予定です。このパネルディスカッションはコンファレンスの2日目に予定されています。コンファレンスの全3日分のホテル宿泊代をこの顧客に提供していいですか？
- 回答：おそらく。以下の条件が満たされる場合、コンファレンスの3日分のホテル宿泊代を提供することが認められます。(a) その顧客がコンファレンスの3日間全部に出席すること。(b) 当該コンファレンス全体がオラクルの製品およびサービスの販売促進、デモまたは説明を目的とするものであること。(c) 提供されるビジネス儀礼が、上記の見出し「提供することが認められるビジネス儀礼」の下に太字で記載された必須要件を満たしていること。(d) 具体的な承認プロセスおよび要件について、腐敗行為の禁止ポリシーおよびビジネス儀礼ガイドラインを参照する必要があること。

- 2** 質問：大きな民間セクター取引の締結が目前となっていますが、案件の主なポイントについて顧客との交渉が続いています。四半期末が近づいているため、交渉を完了させ、「取引を成立」させるために、顧客の交渉チーム全員をこの境界で最高のレストランのディナーに複数の高価なワインボトル付で招待したいと考えています。これは適切ですか？
- 回答：いいえ。これを観察する者は、取引締結直前に顧客の案件チーム全員に贅沢な食事を振舞うことの目的が当該チームの交渉ポジションに影響を及ぼすことであると合理的に判断できるため、腐敗行為の禁止ポリシーに違反します。案件の交渉中に顧客を接待したい場合、事前承認を得る必要があります。
- 3** 質問：ある顧客が、彼女とその家族用にバスケットボールのチケットを要求してきました。その顧客とは厳しい交渉の最中であるため、彼女にチケットを提供したいと考えています。これをしていいですか？
- 回答：顧客はオラクルに贈答や接待を要求すべきではありません。このような要求を受け、顧客に対して何らかの便宜を図りたい場合は、オラクルのコンプライアンス・アンド・エシクス・チームに連絡して、提供可能なものがあるとなれば何があるかを相談してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 質問と回答：

## 世界の汚職防止および贈収賄防止法—受け取ることが認められるビジネス儀礼

**1** 質問：ユーザー・グループまたは専門家会議に招かれて出席または講演する際、そのための旅費を受け取ってもいいですか？

回答：場合によります。オラクルのポリシーでは、すべてのサプライヤーを公正かつ公平に扱うことを求めています。したがって、ひいきしていると見られるおそれのあるものは一切、サプライヤーから受け取らないようにしてください。ただし、団体および専門家グループからの経費の払戻しは、もっと簡単に受け取ることができます。それは、こうした組織は一般に講演の依頼を有利な取扱いを確保するための手段として利用するおそれのあるベンダーから構成されてはいないからです。いずれの場合でも、あなたの直属の上席副社長および地域担当のコンプライアンス・アンド・エシクス・オフィサーの書面による承認を受けなければなりません。

**2** 質問：サプライヤー、ベンダーまたは顧客の担当者が、感謝のしるしとして、サプライヤーのロゴの入ったペンと鉛筆のセットを私にプレゼントする場合は、これを受け取ってもいいですか？

回答：はい。品物がそれほど高価なものではなく、同じような状況で他者にも広く入手可能なものであれば、それを個人的使用のために受け取ってもかまいません。品物がこの基準に合わない場合またはそれ以外の場合に必要な承認を得ていない場合は、丁重に贈り主に返してください。

**3** 質問：休暇シーズンにベンダーから、500米ドルに相当する地元デパートの商品券を、たった今、自宅で受け取りました。商品券を持っていてもいいですか？

回答：いいえ、受け取ることができるのは、それほど高価でない贈り物だけです。腐敗行為の禁止ポリシーに定められた限度額を超える贈答品を受け取る場合、コンプライアンス・アンド・エシクスチームの承認が必要となります。

**4** 質問：先ごろ私の販売チームが大きな取引を締結するにあたって、あるパートナーの協力を得ました。このパートナーに、両社チームの成功を祝うディナーまたはイベントの開催を勧めていいですか？

回答：いいえ。いかなる場合にも、そのような接待を勧誘する行為は適切ではありません。

**5** 質問：私は、私の地元のPGAゴルフトーナメントのチケットを入手することができる長年の顧客を持っています。このトーナメントはビジネス獲得のための交流の機会に恵まれています。この顧客にチケットを1枚確保するよう依頼していいですか？

回答：いいえ。いかなる場合にも、実際のまたは潜在的なサプライヤー、顧客またはパートナーに贈答、食事または接待その他の価値のあるものを依頼することは適切ではありません。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 政府職および公共部門の公務員等との交流

## 政府との契約

オラクルは、政府機関による物品およびサービスの調達ならびに政府との契約の履行に適用される法律、ルール、および規則を厳格に遵守しています。政府以外の顧客との取引においては適切な行為が、政府との取引の場合には不適切となったり、さらには違法となったりする可能性さえあります。政府調達関連法の不遵守に対する罰則は厳しく、相当な民事および刑事上の罰金、禁固、およびオラクルによる政府との取引の禁止等が含まれます。国際機関を含む政府機関と取引をするオラクルの社員は、政府との契約ならびに政府の公務員等との交流に適用されるすべてのルール（オラクルの政府との契約および公務員等との取引に関する補足ポリシーに含まれるルールを含む）を学び、それを遵守する責任があります。

政府または公的部門の公務員等と取引をする場合は、「政府との取引」に関する以下のコースを修了することが求められます：政府との契約および政治コンプライアンスに関する研修コース。補足ポリシーと上記研修コースは、コンプライアンス・倫理ウェブサイトに掲載されています。



レポート



コンタクト



ポリシー

ORACLE

## 政府調達の実効性

私たちの取り組みは、政府の調達規則の遵守だけでなく、それに関連する情報の入手方法にも及んでいます。いかなる情報源からも次の情報の入手を試みてはなりません。

- ➡ 調達に関連する政府の機密情報
- ➡ 決定前の調達先選定等に関する政府の内部機密情報
- ➡ 調達過程、または情報の公表が認められていないと信じるに足りる理由があるその他の状況下で、例えば、入札もしくは入札提案に関する情報といった競争他社の専有情報

これらの情報が意図せずに他のベンダー、コンサルタント、または公務員等から知らされた場合、速やかにオラクル法務部に連絡してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 組織的利害の対立（OCI）

皆さんは、政府との契約業務を履行している際に、オラクルに非公開情報への不公平なアクセス、調達競争での不当な優位性を与えたり、あるいは政府への支援もしくは助言または政府向けの受託業務を行うあなたの目的を損なったりするような実際のまたは潜在的な組織的利害の対立（OCI）がないようにしなければなりません。実際のまたは潜在的なOCIがあった場合、オラクル法務部に相談して、それを明示しなければなりません。

## 政府の元職員の雇用に関する制限

民間部門における元政府の公務員等の雇用に関連する公務員等に対して、様々な法律により要件および制限が課せられています。これらの法律は、公務員等が政府を離れ、民間企業の雇用を受け入れた後の元公務員等の活動について制限しています。現役もしくは元公務員の雇用または当該従業員にビジネス機会の提供に関する協議をするにあたっては、先ずオラクル法務部に相談をして、適切な承認を取得しなければなりません。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 公務員等の議会工作

政府と私たちの交流は、一般に、議会工作関連法令に準拠しています。議会工作は、法律、規則、政策、および規定に影響を与えようとする活動ですが、特定の法域では、販売および事業開発活動をも対象にすることができます。これらの法律は、公選された役職者ならびに任命された公務員等に適用される場合があります。会社は適用される法律の下で、社員および政府関連の外部コンサルタントまたはアドバイザーの活動を含む、会社の議会工作活動を届出および/または報告する義務がある場合があります。皆さんは、オラクルの政府案件に関して、皆さんの活動や委託する第三者の活動が議会工作だと認められる時期を知る責任があり、ガイダンスをオラクル法務部に相談する必要があります。詳細情報に関しては、「政府との契約および公務員等との取引に関する補足ポリシー」、「公選された役職者、法律および公序良俗にかかわる承認プロセス」(Elected Officials, Legislation and Public Policy Approval Process)を参照してください。これらはいずれも、コンプライアンス・倫理ウェブサイトにあります。

## 政治献金

オラクルは、政治献金に関連する法律を遵守する義務を真摯に受け止めています。これらの法律は、法域や国によって大きく異なります。パーティ、選挙運動、および関連したイベントへの出席、参加、および/または政治家候補の後援を含む、オラクルが実施したすべての政治献金は、オラクルの政府業務グループおよびオラクル法務部による事前承認が必要です。また、多くの場合、企業は選挙運動への政治献金を禁じられています。選挙運動に関する法律では、会社資源(例えば、機器、電子メール、文房具または人員)の使用は、会社の寄付と解釈されます。会社資源を政治運動または基金調達に使用する場合は、事前にオラクル法務部からの承認を受けてください。北米におけるオラクルの政治活動についての情報に関しては、コンプライアンス・倫理ウェブサイトにある「政府との契約および公務員等との取引に関する補足ポリシー」を参照してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 個人の政治活動

オラクルは社員が個人的に、市民活動や政治過程に参加することを奨励しています。参加にあたっては、次のことを守らなければなりません。

- ➡ すべての個人的な政治献金は自身のお金で行う。
- ➡ 個人的な政治活動はプライベートな時間に行う。
- ➡ すべての個人的な政治活動は適用される法律に従って行う。
- ➡ オラクルのポリシーを遵守する。

個人的な政治活動に関するガイドラインは次のとおりです。

- ➡ 公選職の候補者または政党への個人の献金は、会社の資金または資産の流用、それによる払い戻しもしくは助成があってはならず、そのようにみなされるような行為もしてはなりません。
- ➡ 法により義務づけられたおよび/またはオラクル法務部の承認がある場合を除き、公職への立候補、公選された役職での任務、選挙候補者のための運動、政治資金調達パーティへの出席に費やされる時間への対価はオラクルから支払われることはありません。
- ➡ オラクルでの自分の職務が許す限り、そしてそれが現在のオラクル人事部ポリシーに従って上司に承認された場合は、個人の政治活動のために無報酬で休みをとることができます。また自分の休暇を個人的な政治活動に利用することもできます。
- ➡ オラクルの政府業務部および法務部による書面での承認がない限り、政治運動、立候補、または政治パーティで会社の商標を含む会社の設備または所有物を使用またはそれを許可することはできません。
- ➡ あなたの政治活動は、自らの個人的な見解を反映したものであることを明確にしてください。あなたの行動がオラクルの見解または立場を反映すると人が信じるような公然かつ明らかで特定の党派等に偏った政治活動は、オラクルの政府業務部およびオラクル法務部による事前の承認が必要です。



## 他への影響

場合によっては、オラクルは会社の事業に影響を及ぼす立法上の問題に関して社員の支持または不支持を奨励することがあります。ただし、いかなる場合も、自分の権限がある地位を利用して、他の社員が次のいずれかの行為を強要されないまたは圧力をかけないようにしてください。

- ➡ いずれかの法律、候補者、政党または委員会のため、または代表として働く。
- ➡ 政治目的の献金をする。
- ➡ 候補者または特定の政策を支持する。
- ➡ どちらかに票を投じる。

米国では、連邦選挙運動法（FECA）によって、会社が政治活動委員会を設立することを許可しています。オラクルは、オラクル政治活動委員会（オラクルPAC）を設立して、社員が連邦、州、および地域の公職の候補者を支援するために個人基金をプールすることができるようにしました。オラクルPAC基金は、すべての適応される法律に準拠し、政治貢献する資格がある社員に限定して使用されなければなりません。オラクルPACへの寄付は任意です。オラクルPAC基金は、強制であってはならず、すべてのオラクルPAC基金に関する連絡には、明確に寄付は任意であること、および社員は寄付の多寡または寄付の不参加判断を理由として、同社員の雇用で有利不利の扱いを受けない旨の声明を織り込まなければなりません。社員のオラクルPACへの参加は、法律で要請された場合を除いて、オラクルPACの管理者によって秘密に保たれます。

質問と回答：

## 政府その他の公共部門の従業員・職員との交流—政府との契約

**1** 質問：政府機関の職員がオラクルなどの民間契約業者と接触する際の規則は、すべての政府機関で同じですか？

回答：いいえ、規則は政府機関によって異なります。それらの規則は非常に大きく異なるため、適用される規則について不明な点がある場合は、オラクル法務部門に助言を求めてください。

**2** 質問：ある政府との契約において、本番の後半段階で実施しなければならないテストの一部と同じようなテストを実施するよう義務づけられています。これは明らかに時間と金の浪費です。この余分なテストを引き続き実施しなければならないのでしょうか？

回答：そうです。契約上は両方のテストを実施する必要があるため、事前に適切なレベルのマネジメントに報告し、承認を取得することに加えて、契約担当役員の承認を得ることなく、テスト要件や品質管理を変更してはなりません。仕様の変更について政府からあらかじめ具体的な承認を得ずに、契約の仕様にあわない製品を政府に故意に納入すると、詐欺行為とみなされ法律違反となることがあります。

質問と回答：

## 政府その他の公共部門の従業員・職員との交流—政府調達に関する誠実性

**1** 質問：オラクル社員や独立請負業者が、政府の調達にあたって、競合他社が計画している入札価格やこれまで実際に提示した入札価格に関する情報を入手してもよいのでしょうか？

回答：いいえ。価格設定に関する情報を含め、他社が専有情報または秘密情報とみなしている競争入札に関する情報をオラクルが入手することは認められません。ただし、公開された情報源から得た競合他社の価格情報は、考慮に入れても構いません。



レポート



コンタクト



ポリシー

質問と回答：

## 政府その他の公共部門の従業員・職員との交流—利益相反

- 1** 質問：顧客である政府の職員から、提案依頼書に含める仕様書の作成を援助するよう要請されました。手助けしてもよいのでしょうか？
- 回答：いいえ。この種の作業は、オラクル法務部門およびその他の該当する内部の承認を取得していない限り行ってはなりません。

質問と回答：

## 政府その他の公共部門の従業員・職員との交流—元政府職員の雇用に関する制約

- 1** 質問：米国政府の元技術者をオラクルで雇用しようと考えています。この技術者はまさに適任者です。この技術者を雇用してもいいですか？
- 回答：場合によります。米国の法律により、オラクルが米国の政府職員を雇用する場合には、いくつかの制限が課されます。州法および現地の法律においても同様の制限が課されている可能性があります。オラクルでの雇用機会について政府職員と話をする前に、オラクル法務部門に相談して、適用される法律との遵守性について確認してください。.



レポート



コンタクト



ポリシー

質問と回答：

## 政府その他の公共部門の従業員・職員との交流—政府職員に対するロビー活動

- 1 質問：選挙で選ばれた公務員の政治資金ディナーに出席するよう顧客に依頼されました。出席してチケット代をオラクルの経費にしてもよいですか？  
回答：場合によります。販売活動は、政治的活動とは分離していなければなりません。また、政治資金パーティへの出席を含む寄付は、いかなる場合にも経費にはなりません。オラクル法務部門によって承認されている活動に対しては、小切手依頼書を提出する必要があります。

質問と回答：

## 政府その他の公共部門の従業員・職員との交流—個人的な政治活動

- 1 質問：私は、政治活動に携わっており、勤務時間中に、市外の政治資金パーティに出席する必要があります。上司の許可があれば出席してもいいですが？  
回答：はい。ただし、有給休暇になりません。そのイベントに出席するには長期休暇または無給の休暇を利用する必要があります。



レポート



コンタクト



ポリシー

質問と回答：

## 政府その他の公共部門の従業員・職員との交流－他者への影響力の行使

**1** 質問：私の上司が彼女の娘の市議会のためのキャンペーンに寄付をして欲しいと要請してきました。これは適切ですか？

回答：いいえ。あなたの上司が圧力をかけていないとしても、その要請は不適切です。オラクルがスポンサーであるイベントの場合は認められますが、上司は部下の社員に対して個人的な慈善目的での寄付の勧誘を一切行ってはなりません。自分の上司であるマネジャーに対してこれを指摘することに不安がある場合は、当該マネジャーの上司のマネジャーまたはオラクル人事部またはオラクルの地域担当のコンプライアンス・アンド・エシクス・オフィサーに相談してください。また、あなたの懸念をオラクル・インテグリティ・ヘルプラインに相談することもできます。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 商取引コンプライアンス関連法令

オラクルは、適用されるすべてのグローバルな輸出、輸入、および経済制裁、法律、および規則の遵守に取り組んでいます。グローバル商取引関連法令を遵守することにより、国際ビジネスを行うオラクルの法的資格が保護されます。この不遵守は、会社に対する懲罰措置、深刻なサプライチェーンの混乱、販売・サービス機会の喪失、金銭的罰則、個々の社員およびそれにつながる管理職に対する罰金刑および懲役刑、ならびに商取引上の特権を失う結果となる可能性があります。皆さんは、自分の業務に商取引コンプライアンス関連法令がどのように適用されるかを理解し、これらの法律を厳格に遵守する責任があります。

米国からまたは米国への物品および技術データの輸出入はすべて、米国の商取引コンプライアンス関連法令の適用を受けます。その対象には次のものが含まれます。

- ➡ 物理的品目（ハードウェア、ノートパソコン、ソフトウェア媒体等）
- ➡ ソフトウェアおよびソースコードの電子的または物理的配布
- ➡ 米国以外の国からの来訪者またはH1-Bビザ取得者に対する書面、口頭または電子的技術データの開示（米国内または米国外で開示が行われるかどうかは問われません）

米国以外の国からの来訪者に対して技術データを口頭または書面で開示する場合であっても、当該データの物理的な輸出に適用されるのと同じ輸出管理規制を遵守しなければなりません。

オラクルによる正規の注文処理、配荷・輸出要求、およびサポートプロセスを経た取引の処理、および/またはオラクル子会社の正規販売ルートを経由した取引の処理でない場合は、オラクルの商品等（ハードウェア、ソフトウェア、文書、ソースコード、技術データ、またはテクノロジーを含みますが、これらに限定されません）を輸出することはできません。



レポート



コンタクト



ポリシー

オラクルのグローバル商取引コンプライアンス・プログラム（Global Trade Compliance program）の一環として、オラクルは、米国原産の防衛品目、防衛関連サービス、およびこれらに関連する技術データが含まれるすべてのオラクルの取引が武器国際取引に関する規則（ITAR）へのコンプライアンスに関するポリシー（International Traffic in Arms Regulation (ITAR) Compliance Policy）に準拠するように、ITARポリシーを維持しています。本ポリシーではまた、対象となる防衛品目、防衛関連サービス、およびこれらに関連する技術データの移送がITARまたは米国の国務省国防機器取引管理部が付与する輸出許可書もしくはその他許可の条件によって正式に認可された内容を超えることがないように、規準および手続きを策定しています。

商取引コンプライアンス案件、または上記法令への潜在的違反に関する質問は、オラクルのグローバル商取引コンプライアンスにお問い合わせください。追加情報は、グローバル商取引コンプライアンスウェブサイトでご覧いただけます。

## THE HELICON

8	EXPERIS
7	ORACLE
6	ORACLE
5	ORACLE
4	RSSB
3	CHARTERED INSTITUTE OF MANAGEMENT ACCOUNTANTS
2	TRADEDOUBLER
1	OKASAN SECURITIES



質問と回答：

## 商取引コンプライアンス関連法令

**1** 質問：特定の戦略物資や技術データの輸出に関しては、適切な輸出許可を取得しない限り規制があることは承知していますが、米国内のオラクルを訪問する外国の方々に技術情報を開示する場合にもそのような規制があるのでしょうか？ この場合、情報は実際には国境を越えてはいません。

回答：はい。外国からの訪問者に対して技術データを口頭または書面で開示する場合であっても、そのようなデータの物理的な輸出に適用されるのと同じ輸出管理規制に従わなければなりません。

**2** 質問：ソフトウェアを輸出したというためには、物理的に国境を越えなければならないというのは本当ですか？

回答：いいえ。場所がどこであっても、技術データやソフトウェアが外国籍の人に利用可能となったときには、輸出に該当します。オラクル社員は、どのような方法でも、技術データやソフトウェアを外国籍の人と共有する前に、適切な輸出許可を取得しなければなりません。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 経済ボイコットの禁止

オラクルは米国政府により承認されていない経済ボイコットには参加しません。オラクルおよびオラクルの社員は、承認されていないボイコットの対象国、その国民、また会社とのビジネスを差別したりビジネスすることを拒否したりすることを禁止されています。

また、オラクルとオラクルの社員は、ボイコットされた国またはブラックリストに掲載された会社とオラクルまたはその他の者との取引関係に関する情報を提供することはできません。皆さんは、情報の提供、または特定国のボイコットを促進もしくは支持するための行動またはその自粛を要求された場合、ただちにオラクル法務部に連絡しなければなりません。ボイコット要請の特定および処理に関する詳細については、オラクルの「海外経済ボイコットに関するポリシー」(Foreign Economic Boycott Policy)を参照してください。これはオラクルのコンプライアンス・倫理ウェブサイトで見ることができます。このポリシーは、私たちが米国の外国経済ボイコットに関する法律を遵守できるようにすることを目的としています。「外国経済ボイコットに関するポリシー」またはボイコット禁止関連法に関する質問または情報の請求については、オラクル法務部に連絡してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

質問と回答：

## 経済ボイコットの禁止

**1** 質問：オラクルは、米国政府が承認していない経済ボイコットを行っている国にある会社から注文を受けました。顧客の発注書には、サプライヤー（この場合は、オラクル）は、ブラックリストに載った会社または国と取引をしないことに同意するという記載がありました。この注文を受け入れてもよいでしょうか？

回答：いいえ。この注文を受け入れれば、オラクルは刑法上および税法上の処罰の対象となる可能性があります。オラクルは米国の反ボイコット規定を遵守しています。こうした注文を受けた部門は、対処方法についてオラクル法務部門およびオラクル税務部門の助言を求めてください。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 証券およびインサイダー取引

オラクルは、皆さんが、適用されるインサイダー取引および証券取引に関する法律を完全に遵守することを期待しています。オラクルは、インサイダー取引に関するポリシーを維持しており、これは、世界中のすべての社員、社外取締役、ならびに社員および取締役の配偶者および家族に対して適用されます。オラクルインサイダー取引に関するポリシーは、オラクル法務部ウェブサイトで見ることができ、オラクルおよびその他会社の証券の取引に関して、法に基づくおよびオラクルが要求する皆さんの義務を定めています。皆さんは、このポリシーを理解し、それを遵守することを期待されています。

皆さんが米国証券取引所で取引されるオラクルまたは他社の証券の取引を行う場合は、米国の証券法とともに、オラクルのインサイダー取引に関するポリシー

(Oracle's Insider Trading Policy) を含め、現地で適用されるその他の証券取引またはインサイダー取引に関する法律の適用を受けます。インサイダー取引および証券取引に関する法律の不遵守は、過酷な民事罰および刑事罰を科せられる場合があります。

オラクルのインサイダー取引に関するポリシーでは、オラクルでの業務を通じて得た重要な非公開情報（「インサイダー情報」ともいいます）を所持しているオラクルの社員は、オラクルの証券またはその情報に関係する他社の証券の取引をすることはできません。重要な非公開情報を他の者に渡す（例えば、「ティッピング」行為）こともできません。これらの規制は、配偶者および家族に対しても適用されます。

重要な情報には、通常の判断力を有する投資家が、証券の購入、保有または売却を決定する際に重要と考えられるすべての情報が含まれます。この情報には、情報が関連するオラクルの証券または他社の証券の価格に影響を及ぼすと考えられる情報が含まれます。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 重要な情報の例

- ➡ 財務実績および財務指標（特に四半期および年度末収益に関する内容）または財務実績、財務指標、もしくは流動性（これらの予測を含みます）における相当な変更
- ➡ 潜在的もしくは進行中の大型合併、買収、ジョイントベンチャー、企業分割、またはその他戦略的取引
- ➡ 大型契約または戦略的パートナーシップの獲得または解消
- ➡ 主要経営陣の変更
- ➡ 配当もしくは株式買い戻しプログラム、証券の募集、または信用取引の変更
- ➡ 監査役の変更、監査人の見解もしくは報告書での適格性に対する判断、または従前の監査人報告書に依拠できる法的資格の変更
- ➡ 実際の重要な訴訟もしくは調査またはそのおそれ
- ➡ 相当数の顧客またはサプライヤーの取得または喪失

非公開情報（または内部情報）は、一般では入手できない重要な情報です。非公開情報は、一般に、プレスリリースの発行または米国証券取引委員会への届出により公開情報となります。皆さんは、一般的には、オラクルが情報を公開した日の翌日の最初の終日取引日に内部情報を知った時点から、取引を停止しなければなりません。

証券には、普通株式、社債、社員ストックオプション、先物、デリバティブ、およびその他の金融商品があります。本ポリシーがどのようにストックオプション、譲渡制限株式ユニット、および社員持株制度に適用されるかについての詳細情報に関しては、オラクルの「インサイダー取引に関するポリシー」を参照ください。

オラクルは、オラクルの社員および社外取締役の特定グループに対して「取引停止」期間を年4回設けています。さらに、戦略的取引提案に関する知識を有する個人は、オラクルの証券を取引する前に、事前承認（プレクリアランス）を得なければなりません。すべての社員および社外取締役は、オラクルの証券への投機的取引を行うことが禁止されています。この誓約の詳細については、「インサイダー取引に関するポリシー」を参照してください。インサイダー取引に関する法律またはオラクルのインサイダー取引に関するポリシーの遵守に関して質問がある場合は、オラクル法務部に相談してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

質問と回答：

## 証券およびインサイダー取引

**1** 質問：私は四半期の収益がガイダンス見積りを上回るであろうことに気づきましたが、会社はまだ公表していません。これが公表されれば多額のお金を儲けられそうです。オラクルの株式を追加購入してもいいですか？

回答：いいえ。それはインサイダー取引です。オラクルのポリシーに違反し、適用されるインサイダー取引および証券に関する法律に違反します。その情報が一般に公表された後、金融市場にその情報が浸透する一定期間が経過した後はじめてオラクルの株式を購入または売却することができます。詳細なガイドラインについては、「オラクルのインサイダー取引に関するポリシー」を参照してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 知的財産

人に加えて、オラクルの最も重要な資産は、次のものを含む知的財産権です。

- ➡ 著作権
- ➡ 特許
- ➡ 商標
- ➡ 営業秘密

私たちは一人一人が知的財産権保護に関するオラクルのポリシーと手続きを遵守して、オラクルの知的財産権を保護する責任があります。オラクルの営業秘密および専有情報の機密性維持することは、これらの保護の重要な要素です。この義務は、オラクルを退職した後も存続します。

オラクルは、第三者の知的財産権も尊重しています。オラクルは、皆さんが職務を十分に遂行するために必要なソフトウェアを、ベンダーと取り交わした適切な使用権許諾契約に基づき提供します。第三者の著作権で保護されたソフトウェア、ドキュメンテーション、またはその他マテリアルをオラクル法務部の許可なく、使用、複製、表示、または配布することは、オラクルのポリシーに反します。例えば、事前に必要な承認を得ることなく、他の事業体の著作権で保護されたコンテンツを社内外のウェブサイトやその他の電子フォーラムに掲載することはできません。使用権許諾契約で認められている場合を除き、ソフトウェアまたはドキュメンテーションを使用または複製することは許可されていません。

関連するポリシーおよびガイドラインについては、オラクル法務部ウェブサイトを確認してください。その一部は次のとおりです。

- ➡ 情報保護ポリシー
- ➡ 社員専有情報に関する契約
- ➡ 著作権遵守ポリシー
- ➡ 特許コミュニケーションおよび検索に関するポリシー



レポート



コンタクト



ポリシー

# 機密情報の保護

オラクルは、オラクルでの雇用に関連して皆さんがアクセスするすべての個人情報  
を保護する決意であり、また皆さんにはかかる個人情報を保護する義務がありま  
す。オラクル法務部ウェブサイトにあるオラクル情報保護ポリシーは、機密情報の  
扱いに関する要件を規定しています。また、当機密情報に関して、以下の異なるカ  
テゴリについての説明を記載しています。

- ➔ 公開
- ➔ 機密 – オラクル社外秘
- ➔ 機密 – オラクル制限付き
- ➔ 機密 – オラクル高度制限付き

情報保護ポリシーは、使用、開示、保存、転送、および削除に対する制限を含む、  
各情報カテゴリの適切な取り扱いについてのガイダンスを提供します。公開する意  
図がない、オラクルのビジネスに関連するすべての情報またはオラクルの顧客、パ  
ートナー、見込み顧客、およびベンダーが機密情報と指定した情報は、機密情報と  
考えられます。

機密情報には、次のものが含まれます。

- ➔ 顧客からクラウド、技術サポート、コンサルティング、およびその他サービス  
の履行のためにオラクルに提供された情報
- ➔ ソースコード
- ➔ 発明または開発（開発段階を問いません）
- ➔ マーケティング計画および販売計画
- ➔ 競争他社の分析
- ➔ 製品の開発計画
- ➔ 価格設定
- ➔ 潜在的な契約、合併、または買収
- ➔ 財務計画または財務予測
- ➔ オラクルの社員および顧客が保有する個人情報



## 質問と回答： 知的財産

**1** 質問：私は今、オラクルのプロジェクトで第三者のコンサルタントと仕事をしており、そのコンサルタントは自分の仕事を完成させるためにオラクルのネットワークにアクセスする必要があります。私のユーザーIDとパスワードをそのコンサルタントと共用してもいいですか？

回答：いいえ。オラクル社員は、適切な許可なく、オラクルのコンピュータ・システムに第三者をアクセスさせることはできません。そして、オラクルのシステムのパスワードを保護し、定期的に変更し、かつ他の誰にも開示しないようにしなくてはなりません。そのコンサルタントのために必要な許可を取る際には、オラクルのネットワーク・アクセス・ポリシーに従うとともに、外部のコンサルタントの雇用について、必要な事務手続きをすべて完了し、必要な承認をすべて取得したことを確認してください。

**2** 質問：私はよく自宅や顧客の現場で仕事をしており、オラクルの電子メールにアクセスする必要があります。電子メールに自宅でもアクセスできるように、外部のISPの個人的な電子メール・アカウントに私のオラクルの電子メールを自動転送してもいいですか？

回答：いいえ。あなたのオラクルの電子メールを、グローバル情報セキュリティの許可なくオラクルのドメイン以外の個人的な電子メール・アカウントに転送することはできません。あなたの電子メールを自動転送すると、オラクルの機密情報がオラクルのネットワークの外に渡り、第三者によりアクセスされるおそれがあります。



レポート



コンタクト



ポリシー

## セキュリティ方針および慣行

オラクルは、私たちの機密情報とともに、オラクルのシステムおよびリソースを保護するために設計された、必要なセキュリティポリシーを有しています。これらのポリシーは、コーポレートセキュリティのウェブサイトでご覧いただけます。個々の事業部門および組織体は、その運営のために追加のセキュリティ慣行を設定することができます。オラクル設備への不法アクセスがあった場合には、オラクルのグローバル物理的セキュリティ（Global Physical Security）に、オラクルのネットワーク、システム、または機密情報への不法アクセスもしくは不正使用があった場合は、オラクルのグローバル情報セキュリティに報告してください。

オラクルの機密情報およびオラクルが保有する個人情報を保護するための皆さんの義務は、オラクルによる雇用が終了した後も存続します。同様に、私たちは、皆さんが前雇用主の機密情報を保護する自らの義務を守ることを期待しています。以前の勤務先での雇用期間中にまたはその雇用の結果として取得した機密情報は、オラクルの施設内に持ち込んだり、いかなる形であれオラクルの業務で使用したりしないでください。

## プライバシーポリシー

oracle.comにあるオラクルの社外プライバシーポリシーは、個人情報、顧客情報、見込み情報、およびサービス業務に関連してオラクルがアクセスするまたはオラクルに提供される情報の収集、利用、転送、およびセキュリティに適用されます。oracle.comにあるオラクルの社内プライバシーポリシーは、オラクルの社員および請負業者の個人情報のオラクルによる加工に適用されます。皆さんは、これらの情報の収集、加工または取り扱いにあたって、これらのポリシーに従うことが求められています。



レポート



コンタクト



ポリシー

# ソーシャルメディア

オラクルは全社を挙げて、社員、顧客、パートナー、およびその他の人々とのコミュニケーションを奨励しています。ウェブログ（ブログ）、ソーシャルネットワーク、ディスカッションフォーラム、wiki、ビデオ、およびその他のソーシャルメディアは、会話と議論を活発にするための素晴らしい方法になります。オラクル法務部ウェブサイトにあるオラクルの「ソーシャルメディア参加に関するポリシー」（Social Media Participation Policy）は、社員のソーシャルメディアに参加するための要件を規定しています。

次のことは是非覚えておいてください。

- ➡ オラクルの倫理とビジネス行動規範およびオラクルの企業および法律に関するポリシーは、皆さんのオフラインの行動に適用されるように、皆さんのオンライン活動（ブログ、いいね！、ツイート、コメントおよびすべての形態のオンライン活動）にも適用されます。
- ➡ 顧客との機密もしくは重要な内容または顧客と直接やり取りするオラクルのビジネス上のコミュニケーションをソーシャルメディア上で行ってはなりません。
- ➡ 合併・買収活動、製品ロードマップおよび今後の製品提供、または一定のコミュニケーション禁止期間（以下、「沈黙期間」）中における特定のコミュニケーション、公序良俗または法律、および法的注釈に関しては、ソーシャルメディア参加に関するポリシーの規定により、ソーシャルメディア上で議論してはなりません。
- ➡ 著作権やプライバシー／パブリシティ権を含む他人の知的財産権を尊重してください。特に写真やビデオコンテンツを使用する場合には注意が必要です。
- ➡ 皆さんは、オラクルの広報部門および/またはオラクルのAR部門（アナリストリレーションズ）による研修を受けた正規のオラクル広報担当者でない限り、オラクルを代表して発言したり、あなたが行っていることを表明したりする権限はありません。外部とのコミュニケーションに関するガイドラインは、オラクルの「報道機関およびアナリストとのコミュニケーションに関するポリシー」（Policy Regarding Communications with the Press and Analysts）に記載されています。
- ➡ オラクルに関連する話題を議論する際に個人のソーシャルメディアアカウントを使用する場合は、自分自身がオラクルの社員であることを明示し、あなたの意見は自分個人のものであり、必ずしもオラクルの見解を反映したものでないことを明確にしてください。
- ➡ オラクル、またはあなたが批評している製品もしくはサービスの提供者との物的関連性を明らかにしてください。
- ➡ ソーシャルメディアを介して機密情報を開示しないでください。
- ➡ 侮蔑的、不快、または扇動的な投稿はしないでください。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 利益相反

「利益相反」という用語は、オラクルの最善の利益に基づいて行動し、個人的利益または相反する忠誠心によらない健全なビジネス判断を行う能力に疑問を呈するあらゆる状況を示しています。この用語はまた、あなたのビジネス上の判断が損なわれているように見える状況のことも指しています。利益相反に関するポリシーでは、利益相反の問題を生み出す財務上、ビジネス上その他の関係を回避する方法と、そのような状況に対処する方法を説明しています。皆さんは、このポリシーを読んで理解しなければなりません。

利益相反となる状況は様々な形で発生します。利益相反を引き起こす可能性がある行動には、次のものが含まれますが、これらに限定されません。

- ➡ 家族、友人、および恋愛関係 - 例えば、マネージャーが恋愛関係を持つ社員を監督し続けたり、マネージャーの兄弟が所有するパートナーの割引を承認したり、あるいは親密な個人的友人または恋愛関係を持つ者が所有するベンダーもしくはベンダー組織を採用したりする等。
- ➡ 個人的な金銭的利益 - 例えば、社員が、金銭的利益があるベンダーにオラクルのビジネスを誘導する等。

- ➡ 法人向けビジネス機会 - 例えば、社員が、オラクルが施設を建設を知っている不動産を購入する等。
- ➡ 社外からのビジネス活動 - 例えば、社員が、オラクルと競合する可能性が高い新興企業の取締役会に参加し始めたり、製品やサービスを販売している再販業者の共同所有者であったりする場合等。
- ➡ 公務または公職 - 例えば、社員が、オラクルがオフィスを持つ都市の評議会の役職に就いている場合等。
- ➡ 演説、書籍、その他の出版物 - 例えば、社員が、クラウドセキュリティの将来について一連の講義をすることに同意する等。



レポート



コンタクト



ポリシー

前記以外の潜在的な利益相反のシナリオは、「利益相反に関するポリシー」に概説されています。利益相反があるからといって、必ずしも活動が禁止されるわけではありません。利益相反の可能性があると感じた場合、先ず、利益相反が生じるような行動を控え、次に、「利益相反開示書式」(Conflict of Interest Disclosure Form)を使って、書面で利益相反またはその可能性を速やかに開示し、当該書面を、オラクルのコンプライアンス・倫理チームのメンバーに提出しなければなりません。皆さんが誠意をもって利益相反であると確信する状況に他のオラクルの社員が関与していることに気づいた場合は、その状況を上司、管轄の人事部マネージャー、担当地域のコンプライアンス・アンド・エシクス・オフィサー、またはインテグリティ・ヘルプラインに報告しなければなりません。社員から提出された報告事項は、可能な限り秘密として取り扱われます。

オラクルの上級役員、即ち、最高経営責任者、最高技術責任者、社長、最高執行責任者、最高財務責任者、最高会計責任者、上級副社長、および上席副社長は、さらに追加の報告要件が課せられます。この詳細は、「利益相反に関するポリシー」に記載されています。オラクル取締役会の社外メンバーには、本コードに含まれる利益相反条項の代わりに、オラクルの「コーポレート・ガバナンスに関するガイドライン」(Corporate Governance Guidelines)の利益相反条項が適用されます。本コードまたはその他の関連するポリシーに関して質問がある上級役員およびオラクルの取締役会のメンバーは、オラクルのジェネラル・カウンセルに問い合わせください。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 質問と回答： 利益相反

**1** 質問：友人からある会社への投資話を持ちかけられており、その会社は、いずれオラクルに販売される可能性がある製品を生産します。この投資が純粋に投資で利益を得る目的であり、かつ、その会社の経営に関与せず、またはアドバイスを一切しないつもりなのであれば、利益相反にならないのですか？

回答：場合によります。その行為が利益相反にあたるかどうかは、以下に依存します。

- オラクルでのあなたの地位
- サプライヤーの選定に対しあなたが有していると他者が考える影響力
- その企業へのあなたの投資額
- その企業の将来の顧客としてのオラクルの重要性

オラクルのコンプライアンス・アンド・エシクスに利益相反開示フォームを提出して事情を完全に開示し、その承認を得てください。

**2** 質問：オラクル社員は、地元の大学で報酬を得て教鞭をとってもよいのでしょうか？

回答：はい。利益相反開示フォームを使って書面による承認を得たうえで教育機関で教鞭をとることは認められます。

**3** 質問：あるオラクルの顧客から、オラクルと利害関係のない製品を開発するにあたって、コンサルタントになってほしいと頼まれました。その顧客とは、業務上よく取引しています。これは利益相反になる可能性がありますか？

回答：はい。なぜなら、実際にはひいきにしていなくても、オラクルのほかのベンダー、サプライヤーまたは顧客が、あなたがその会社をひいきにしているのではないかと疑うかもしれないからです。あなたのビジネス上の判断の客観性が疑われかねません。さらに、もしかするとオラクルが依頼を受け実施していたかもしれないサービスを、あなたが個人的にその顧客に対して行くと、利益相反になってしまいます。

**4** 質問：設立後間もない会社の取締役への就任の要請を受けました。就任してもいいですか？

回答：承認が必要です。取締役に就任したい場合は、利益相反開示フォームを使って書面による承認を得なければなりません。取締役に就任する会社がオラクルと競合関係がなく、オラクルの顧客、パートナーまたはサプライヤーではなく、かつ取締役を務めるために必要な時間が多くないことが必要です。承認を受けた職に就くときは、報酬を受けてもかまいません。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 競合他社またはその他第三者 についての情報収集

皆さんは、オラクルの競合他社に関する情報がその会社の財産的価値を有する情報である場合は、それを求めてはならず、また、違法に、あるいは誠実義務の欠如または守秘義務もしくは雇用契約に違反する方法で、オラクルの競合他社に関する情報の入手を試みてはいけません。皆さんは、オラクルとの雇用関係を常に明らかにし、競合情報を収集しようとする際に自分の身元を偽ってはいけません。皆さんがもし、第三者が所有する機密もしくは専有情報を、当該第三者による承諾がないまま、気づかずに入手した場合には、オラクル社内でその情報を広めないようにした上で、ただちに、オラクル法務部legal\_us@oracle.comに連絡をとらなければなりません。オラクル法務部より特段の指示がない限り、あなたが保有する当該情報の一切の写しを速やかに破棄しなければなりません。

私たちは、競合他社の製品や活動に関して、公開された発表、マーケティング資料、新聞や雑誌の記事、広告その他公表済み情報等の一般に入手可能な情報に判断の根拠を置いている場合には、それに関する適切な所見を述べることができます。



レポート



コンタクト



ポリシー

質問と回答：

## 競合他社またはその他第三者についての情報収集

**1** 質問：第三者が所有する競合情報のコピーを、たった今郵便で受け取りました。これを利用していいですか？

回答：いいえ。他の社員に情報を送付または回付することなく、オラクルの法務部門に直ちに申し出てください。オラクル法務部より別段の指示がない限り、あなたが保有する当該情報の一切の写しを速やかに破棄しなければなりません。適切な情報収集は合法的なマーケティング戦略ですが、未知の情報源から受け取った、明らかに第三者の専有物であると分かる情報の利用をオラクルは決して許可しません。

**2** 質問：私はオラクルの競争他社の一つの顧客企業で働いていました。その仕事において、私は競争他社が業務運営方法について多くを学びました。また、自分のパーソナル・コンピュータに彼らの契約書の一部のコピーをいまだに持っています。この情報をオラクルと共有することはできますか？

回答：いいえ。以前の勤務先で得た競争他社に関する情報をオラクルの利益のために利用したくなるでしょうが、この場合には認められません。オラクルは社員に以前の雇用主から取得した機密知識を保護することを求めています。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 契約

皆さんは、すべてのビジネス機会において公正かつ倫理的に競争することを期待されています。皆さんが製品／サービスの購入、販売もしくは使用権許諾、契約の交渉、または顧客へのサービスの提供に従事している場合、オラクルの契約条項を理解し、遵守することを期待されています。また、皆さんは、顧客、サプライヤー、および社内の承認者に対するすべての発言、コミュニケーション、および表明が正確かつ真実であるようにしなければなりません。

オラクルは、自社の契約上の義務はすべて履行する決意です。皆さんは、契約の締結、修正または変更にあたっては、あらかじめすべての適切な承認を得る必要があります。オラクルは、サイドレターや口頭による合意等での、承認されていない契約、または契約に関する承認されていない修正を禁止しています。「周辺契約」または「サイドレター」とは、主契約とは別に、収益計上の対象であるまたはその予定の顧客もしくはパートナーと、オラクル自らもしくは他者を通じて交わされる合意、約束、またはコミットメント（文書または口頭で行われたかを問いません）のことをいい、その内容が文書化されない場合と、契約で文書化される場合があります。かかる周辺契約は、オラクルのポリシーでは禁止されています。

## 支出および署名権限

皆さんは、オラクルを代表して、商品やサービスの購入、書類への署名その他コミットメント（確約）する前に、合計支払額以上の金額を支出する権限またはオラクルに支払いを義務づけるその他の特権が自分にあること確認しなければなりません。このような判断をする際には、購入にかかる総費用を計算することが必要です。例えば、支出権限の範囲を超えないようにするために、同一のプロジェクトで単一のベンダーに対し複数の購入依頼をすることは許容されません。十分な支出権限がない場合は、管理職序列の中の適切な権限を持つマネージャーから承認を得てください。支出権限について質問がある場合は、上司に相談してください。皆さんは、「グローバルな支出承認に関するポリシー」（Global Spending Approval Policy）、「グローバルソース・ツー・セトル（調達から決済までの統合費用管理）に関するポリシー」（Global Source-to-Settle Policy）、および「文書署名権限に関するポリシー」（Document Signing Authority Policy）にも精通するようにしてください。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 質問と回答： 契約

**1** 質問：顧客は契約に署名する準備ができていますが、取締役会の承認がまだお  
りていません。顧客は、10日後に行われる取締役会でその取引が承認される  
ことを保証する一方で、万一取締役会の承認が下りなかった場合、15日以内  
であればソフトウェアを返却できることを認めるよう求めています。15日以  
内に顧客がソフトウェアを返却できることを確認する手紙を出していいです  
か？

回答：いいえ。これは契約条件を修正する未承認のサイドレターに該当しま  
す。未承認のサイドレターの締結は懲戒処分の理由となります。

**2** 質問：ある顧客から、オラクルの使用権許諾契約で明示的に認められていない  
方法で、その顧客がソフトウェアを使用できることを確認するレターを書くよ  
う求められています。その顧客が意図している当該使用は、オラクルの使用権  
許諾契約で明示的に禁止されておらず、オラクルも異議を唱えないだろうと確  
信しています。そのようなレターを書いていいですか？

回答：いいえ。オラクルは快く契約を変更して、顧客が望む使用を認めるか  
もしれませんが、そのような契約の変更には、必要な業務審査と承認を要しま  
す。その要請を正式な契約の変更の要請として取り扱い、オラクルのビジネ  
ス・プラクティスのガイドラインに従って処理してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

# オラクル・リソースの利用

私たちは、事業を遂行するために会社や個人の多くの資産やリソースを利用しています。これらには、オラクルの設備、コンピュータ、電話、および電子メール、さらに一定のパーソナルデバイスが含まれます。社員一人一人がこれらのリソースの適切な使用についての要件を完全に理解することが重要です。

皆さんは、オラクル法務部ウェブサイトにある「会社リソース利用規約」(Acceptable Use Policy for Company Resources) を遵守することが求められています。対象となる題目には、次のものが含まれます。

- ➡ オラクル・リソースの個人利用と適切な行動
- ➡ データ滅失およびセキュリティ問題の報告
- ➡ オラクルおよび第三者に属するインスタントメッセージ、電子メール、ボイスメール、携帯電話、リムーバブルメディア、およびアプリケーションの利用
- ➡ パスワードの利用とウィルスの防止
- ➡ 機密情報の保護
- ➡ 公式声明の提出
- ➡ マーケティングおよびカスタマーコミュニケーション
- ➡ リソースおよび設備の調査およびそれへのアクセス

オラクルは、セキュリティの監視および維持のために、CCTV（ケーブルテレビ）の使用を含む、私たちの施設におけるセキュリティ管理手続きを整備する場合があります。また、オラクルのコンピュータ、システム、リソース、および業務目的で使用されている社員のパーソナルデバイスの利用も、適用される法律で許容されている範囲で監視または法律に基づく保存のための画像撮影の対象となる場合があります。.

さらに、オラクルは、皆さんがオラクルの情報および物理的セキュリティに関する複数のポリシーを常に遵守することを求めます。オラクルの財産は、適切な許可なしに、販売、貸与、贈与または処分することはできません。オラクルを退職する際には、鍵、セキュリティバッジ、コンピュータ機器、ソフトウェア、ハンドブック、および内部文書を含むオラクルの財産すべてをオラクルに返却しなければなりません。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 財務上の健全性

正確で信頼性のある財務記録と業務記録は、オラクルの財務上、法律上およびビジネス上の義務を果たす上で非常に重要なものです。オラクルの財務帳簿、記録、および財務諸表は、すべての資産と負債を適切に文書化し、会社のすべての取引を正確に反映していなければなりません。理由の如何を問わず、オラクルの帳簿または記録に虚偽の記載を絶対にしてはなりません。財務記録の保存に関する有益なガイドラインのいくつかを次に示します。

- ➡ コンサルタントによる作業時間または経費の請求、オラクルのタイムカードの提出、販売管理者による注文の入力、ならびに出張および経費の報告書の提出は、時宜を得た方法で正確に、かつオラクルのポリシー、職業上の基準、規則、および法律に従って、行わなければなりません。
- ➡ 文書は、不正に改ざんしてはならず、また正当な権限のない者が署名してはなりません。詳細については、オラクル法務部ウェブサイトにあるオラクルの「文書署名権限に関するポリシー」を参照してください。
- ➡ オラクルの資金または資産は、倫理に反した目的、不適切もしくは違法な目的で使用してはなりません。
- ➡ オラクルの取引に関連した資金の取り扱いと支払いは、明確に定められた手順に則り、正式に承認されたオラクルの契約書に従っていなければなりません。
- ➡ 秘密のまたは記録されていないオラクルの取引に関連した資金または資産は、いかなる目的であっても確定または維持してはなりません。

- ➡ 記載内容以外の目的で使用されたまたは使用される可能性があるということを知った上で、オラクルを代表しての支払いまたはその承認をしてはいけません。
- ➡ 基準から外れた割引の承認要求はその内容のすべてが、正確で商業上正当化されるものでなければなりません。誤解を招くおよび/または不適切で非標準的な割引に起因するマージンは不適当であり、オラクルの顧客、社員、または他の第三者への支払い、またはその他報酬の支払いは認められません。
- ➡ 対応するエンドユーザー契約を伴わないオラクルへの注文（「プレローディング」または「押し込み販売」ともいいます）は、受け入れられるオラクルの商慣行ではないため禁止されています。オラクルのパートナー契約では、オラクルの要求に応じて、パートナーがエンドユーザー契約書（エンドユーザー証明（POEU））の写しを提出することを要求しています。この契約書では、オラクルの「収益認識に関するポリシー」（Revenue Recognition Policy）の記載に従って一定の注文が予約されていることが必要です。
- ➡ 皆さんは、オラクルのパートナー（VAD、再販業者等）と仕事をする場合、中立性を維持し、パートナーによるオラクルのポリシーの遵守および契約上の義務の履行を確保するためにあらゆる妥当な措置をとることを期待されています。パートナーやその他第三者を使って、不適切な支払いもしくはその促進、取引の性質や内容の不当表示、またはオラクルのポリシーや管理システムの設計および意図を迂回するような方法での取引形態の変更等は絶対にしないでください。詳細は、オラクルの「パートナー起用に関するガイドライン」（Partner Engagement Guidelines）および「パートナーとの協働に関するガイドライン」（Guidelines for Working with Partners）を参照してください。



レポート



コンタクト

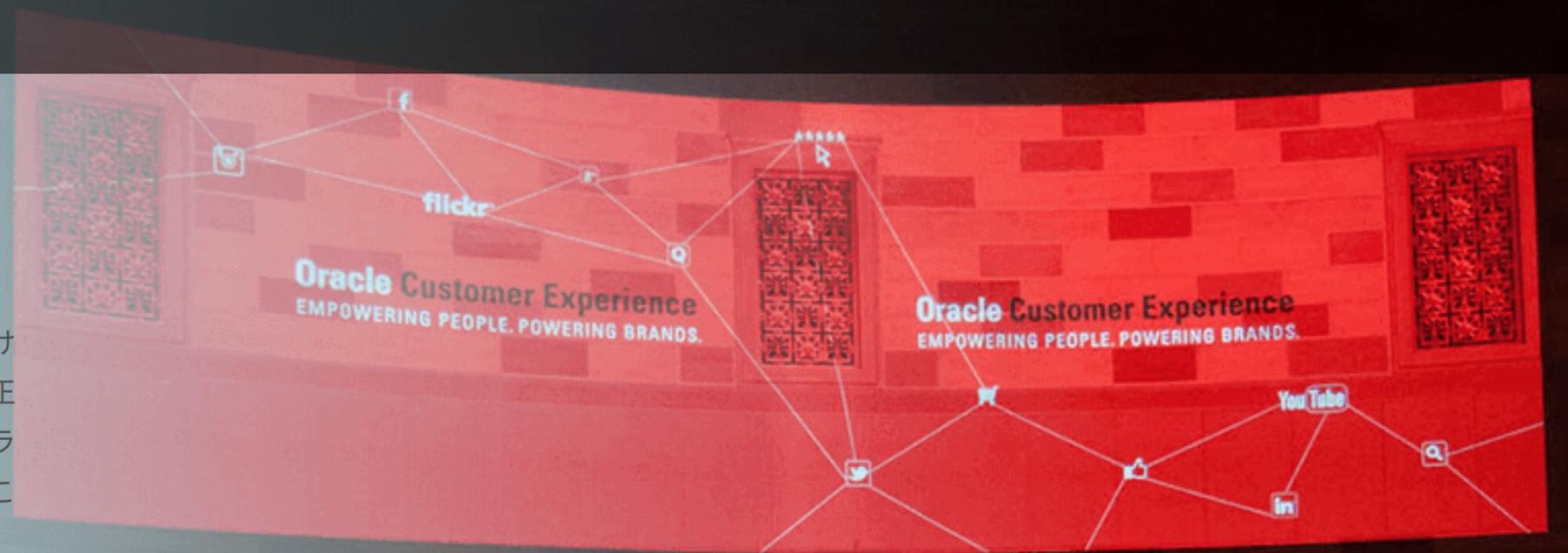


ポリシー

# 情報公開

公開会社として、オラクルは、会社と業績に関して正確で完全な情報を開示しなければなりません。オラクルは、その決算報告その他重要な進展を、完全、公正、正確、迅速に、かつ分かり易く報告することを私たちのポリシーとしています。オラクルは、企業情報を報道機関または金融界等へ不当に「リーク」または開示することを容認しません。

報道機関および金融界とのコミュニケーションはすべて、オラクルの広報部門またはIR部門の許可を得なければなりません。これらの部門のみが、エグゼクティブ・マネジメントの指示に基づき、報道機関およびアナリストとのコミュニケーションをとる適切なスポークスパーソンを決定する責任を負っています。報道機関または金融界から問い合わせがあった場合は、ただちにオラクルの広報部門またはオラクルのIR部門に回してください。詳細については、オラクル法務部ウェブサイトにあるオラクルの「報道機関およびアナリストとのコミュニケーションに関するポリシー」(Policy Regarding Communications with the Press and Analysts)を参照してください。



## 質問と回答： 情報公開

**1** 質問：あるオラクルの四半期の業績が不調であることを耳にした投資アナリストから電話を受けました。その投資アナリストの予測を電話で終わりまでじっと聞いていましたが、事実はその反対であって、オラクルの四半期の業績は素晴らしいものとなることを知っています。このアナリストの間違いを正しているですか？このような誤解を正すことは、結局のところ良いことではないですか？

回答：いいえ。あなたはこのアナリストに話をしてはいけません。オラクルIR部門が認めたスポークス・パーソンだけが、エグゼクティブ・マネジメントの指示により、オラクルまたはその業績見通しについて金融界と話すことができます。オラクルは、業績見通しについて、網羅的かつ公正な理解しやすく正確な情報を適時に公表することを約束しており、その公表は選択的にするのではなく、オープンに行っています。このような質問は、オラクルIR部門に取り次いでください。それ以外のコメントはしないでください。

**2** 質問：最近のオラクル製品の発表について詳しい情報を知りたがっている記者から電話を受けました。その製品についてはよく知っています。この記者に話してもいいですか？

回答：いいえ。少なくとも、まずオラクル広報部門の許可を得ない限り話すことはできません。マスコミとコミュニケーションをとる場合は、必ず、オラクル広報部門の事前の承認が必要です。あなたがこの問題に関しオラクルの最良のスポークスパーソンであるとオラクル広報部門が決定する可能性があっても、その決定はあなた自身ではなく、オラクル広報部門が行わなければなりません。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 記録保存

「オラクル記録保存に関するポリシー」(Oracle Records Retention Policy) (以下「保存に関するポリシー」)では、オラクルの業務記録の保存および廃棄に関するガイドラインが設定されています。保存に関するポリシーでは、記録をコーポレート記録保存期間(以下「保存期間」)に従って保存することを定めています。本保存期間は、保存しなければならない会社の記録および各記録の種類に応じた保存期間を明記しています。保存期間上で明記されていない記録に関しては、当該記録がその時点でのビジネス上の目的を有しているか、またはオラクル法務部がその記録を保存または保管するよう指示しない限り、それを保存してはいけません。皆さんは、保存に関するポリシーおよび保存期間を読み、それに従う責任があります。リーガルホールドの通知を受け取った場合、あなたが保存している特定またはすべてのオラクル文書の一部または全部について、保存に関するポリシーに明記されている手続きを中止する必要があることに留意してください。リーガルホールドについて質問がある場合は、私たちのリーガルホールドに関する「よくある質問」を参照するか、オラクル法務部の連絡してください。

保存に関するポリシーおよび保存期間は、電子的(ソフトコピー)およびハードコピーのマテリアルの両方を対象としています。これは、保存されている媒体にかかわらず、次を含むすべての種類の記録に適用されます。

- ➡ 紙
- ➡ 電子メール
- ➡ ビデオ
- ➡ ハードドライブ
- ➡ コンパクトディスクその他電子的ストレージデバイス

保存に関するポリシーおよび情報保護ポリシーの両方に従って機密情報を含む記録が保存され、また破棄されるように特別な配慮が必要です。

現地の状況により、記録が本保存期間より長期にわたり保存することが必要と思われる場合は、オラクル法務部に連絡をとるか、[dcretention@oracle.com](mailto:dcretention@oracle.com)にメールしてください。保存に関するポリシーまたは保存期間に関する質問がある場合は、オラクル法務部に連絡してください。



## 質問と回答： 記録保存

**1** 質問：あなたの仕事の中に、2カ月前の請求書の原本がいくつか出てきました。すべての書類は支払済みになっていて、これらのファイルによって貴重なスペースが消費されています。より新しい情報を入れるためにそれらを破棄してもいいですか？

回答：いいえ。請求書の原本のような記録は経費を表すものであり、米国証券取引委員会およびオラクルの投資家への会社の定期的報告に関連して最終的に報告、確認、および監査する必要があります。保存スケジュールで請求書の保存期間に関するガイダンスを参照してください。

**2** 質問：経理部門は顧客の弁護士から、オラクルが行ったと当該顧客が主張する特定の口約束を果たすようオラクルに要求する書面を受け取りました。あなたの上司は、あなたにそのような約束を裏付けるような電子メール・メッセージを送ったかどうかを確認するように要請しました。確認した結果、顧客関係をよく知らなかった人に約束を構成するものとして解釈される可能性がある1通の電子メールを発見しましたが、そのような約束は当該顧客に対して決してなされなかったとあなたは心から思っています。この電子メールを削除すべきですか？

回答：いいえ。オラクルの記録保持ポリシーは、社員に、オラクルが訴訟の対象となるであろうと合理的に予測する問題に関連する可能性のあるすべての記録を保持することを求めています。この上司は、この催告書を直ちに訴訟・法律チームに報告しなければなりません。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 慈善寄付

オラクルは、教育を高め、環境を保護し、また地域の生活を豊かにするため、私たちのリソースを活用するよう取り組んでいます。例年、オラクルは世界中の非営利団体に対して数百万ドルの寄付を行っています。助成およびスポンサーシップ、さらにオラクルのボランティアサポートを通じて、私たちは、事業を行っている地域社会のクオリティ・オブ・ライフを改善すべく取り組んでいます。さらに、オラクルアカデミーやオラクル教育財団といった私たちの教育プログラムは、学生たちに私生活と仕事での成功に向けた準備の手助けを行っています。

オラクルは、契約を締結するためまたは意思決定者からの便宜を求めるための慈善寄付はいたしません。しかし、事業部門が継続的で前向きなビジネス関係の一環として非営利団体に接触し、ビジネスの締結またはオラクルに影響を与える決定に関する便宜を求めるものでない限り、当該事業部門が非営利団体を支援することは可能です。すべての寄付は、「現金寄付に関するポリシー」(Policy for Cash Donations)に従って実施されなければなりません。慈善寄付から発生する可能性がある潜在的な利益相反問題についての疑問があれば、コンプライアンス・倫理チームに提起してください。



## 質問と回答： 慈善寄付

**1** 質問：私は、非営利団体の理事会／評議員会のメンバーです。オラクルが組織に寄付することをこの理事会に保証することはできますか？

回答：いいえ。あなたは、理事就任は個人的なことであり、自分自身のみを代表して行っていることおよびオラクルからの寄付を確保できる可能性はほとんどないことをこの非営利団体に対して明確にしなければなりません。この非営利団体が以前にオラクルからの寄付を受けていた場合、またはオラクルと何らかの公式の関係を持っていた場合、理事就任前にコンプライアンス・アンド・エシクスの承認を得ることが必要です。本規範の「利益相反」セクションも併せて参照してください。

**2** 質問：オラクルは私が個人的に関与している非営利団体の資金集めイベントのスポンサーになれますか？

回答：いいえ。Oracle Givingは、オラクルと現在深い関係を有する非営利団体のための特別イベントについてのみ、スポンサーとなります。また、オラクルは、会社幹部が関与するイベント（例えば、その組成委員会のメンバーとして）にスポンサーシップを提供する場合があります。

**3** 質問：オラクルを代表して非営利団体の資金集めを目的とするイベント（スポーツイベント、交流イベント、資金集めパーティ等）を組成することができますか？

回答：いいえ。オラクルを代表して非営利団体を支援するためのイベントを組成できるのはコーポレート・シチズンシップのみです。オラクル社員は、オラクルボランティアプログラムおよびMyCitizenshipポータルを通じて非営利団体を支援することができます。



レポート



コンタクト



ポリシー

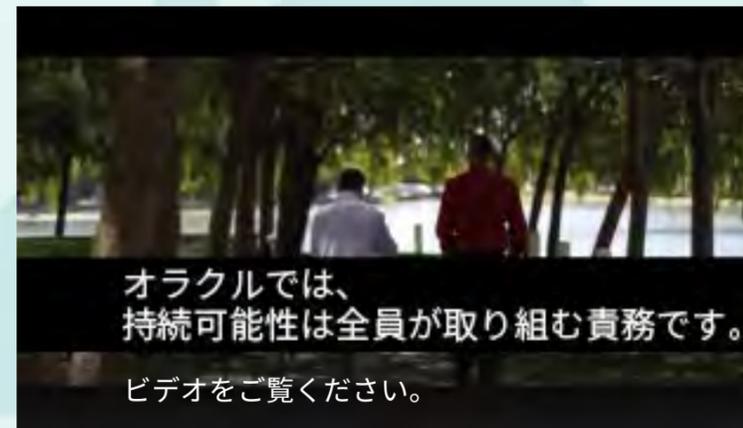
# 企業の社会的責任

オラクルは、私たちの事業活動および製品／サービスの販売を通じて、広く認知された人権を尊重するという私たちが負っている重要な責任を認識しています。グローバル企業として、私たちは、オンラインプライバシー、人身売買、紛争鉱物、労働者の権利、表現の自由、およびデータ機密性等の重要な人権問題に対して日々対応しています。

私たちは人権の保護を支持し尊重しており、私たちのビジネスパートナーおよびサプライヤーも同様であるように努めています。私たちは、業務行為を通して発生する可能性がある人権侵害への関与を回避します。私たちは、児童労働、懲役労働または強制労働、および体罰は、オラクルの事業運営において決して黙認してはならないと定めています。同様に、私たちのビジネスパートナーまたはサプライヤーがかかる慣行に関与しないように定めています。私たちは、皆さんが現地の法律および確立された慣行に従って労働組合や団体交渉を組織化する権利を尊重しています。

オラクルは、地域社会において、教育を革新的な方法で高め、多様性を促進し、生活を豊かにし、環境を保護するために、私たちの技術およびリソースを活用することに取り組んでいます。オラクルのポリシーは、ビジネスニーズと環境ニーズのバランスをとりながら、環境に極力負荷をかけないように施設を維持し、業務を行うことです。例えば、できる限り多くのリソースを削減、再使用、およびリサイクルすることを模索しています。

私たちは、適用されるすべての環境関連法令を遵守しなければなりません。環境管理についてのオラクルの立場に関する詳細は、オラクルの「環境に関するポリシー」(Environmental Policy)を参照してください。



レポート



コンタクト



ポリシー

# オラクルとのつながり



# オラクルと社員

オラクルは、地域の社員に対して、社員関連のポリシー、慣行、およびプログラムに関する一般的質問に答えるために用いることができる手引書または地域の人事サイトを提供しています。職場の改善に関するアイデアや、職場または特定の仕事関連の問題について皆さんが抱えている懸念を表明するようにしてください。私たちは、誠意をもって問題、不満または懸念を表明した社員に対して報復することなく、また報復を黙認しません。私たちの目標は、公正かつ公平に一人一人の社員と向き合うことです。

## 輸出入管理関連法

皆さんは、あなた自身、およびあなたに報告する社員が、該当するすべての輸出入管理関連法および/またはオラクルが指定する輸出入業務支援業者の助言を確実に守るようにしなければなりません。オラクルの社員は、勤務している国の適切な就労許可書をいつでも所持していなければなりません。海外出張をする場合には、受け入れ国に入国しようとする前に適切なビザを取得する責任があります。ビザ取得条件は、期間にかかわらず、業務目的で母国外に出張するまたは母国外のプロジェクトまたは海外異動に携わるすべてのオラクルの社員に適用されます。さらに、オラクルは、請負業者またはその他の社員が適切な許可または書類がないままプロジェクトに従事することを皆さんが許可することを禁止します。

出入国管理問題についての情報を知りたい場合、グローバル人事ウェブサイトを通じて、米国特有の問題に関しては米国移民局、米国以外の国では「グローバルモビリティグループ」（Global Mobility group）にお問い合わせください。

すべての米国ビザ案件を含む米国輸出入管理に関しては、オラクルの米国輸出入管理チームにお問い合わせください。

米国外の輸出入管理（米国入国は除きます）に関しては、オラクルのグローバルモビリティグループ（Global Mobility group）にお問い合わせください。オラクルのグローバルモビリティおよびグローバル輸出入管理プログラムに関しては、オラクルのワーキングワールドワイドサイトを見ることもできます。そこには次のものが含まれます。

- ➡ グローバル輸出入管理プログラムに関するポリシーおよびガイドライン
- ➡ グローバル輸出入管理プログラムのよくある質問（FAQ）



レポート



コンタクト



ポリシー

## 多様性

オラクルは、以下を含みますがこれらに限定されない特性にかかわらず、雇用機会均等の原則を支持します。

- ➡ 人種
- ➡ 信仰
- ➡ 国籍
- ➡ 肌の色
- ➡ 性別
- ➡ 性別認識または表現
- ➡ 年齢
- ➡ 精神的または肉体的障がいまたは健康状態
- ➡ 妊娠の有無
- ➡ 婚姻の有無
- ➡ 国籍／家系
- ➡ 遺伝情報
- ➡ 支持政党

- ➡ 退役軍人の身分
- ➡ 性的指向
- ➡ 連邦法もしくは州法または地域条例に基づき保護されたその他の特性

私たちは、すべての地域におけるこれらのポリシーを法に基づき適切に実践し推進しています。オラクルは、採用活動および雇用、業績評価、報酬、ならびに昇進からオラクルとの雇用関係の終了まで雇用関係のすべての局面において、この差別禁止の原則を支持します。

私たちは、人事の決定にあたっては、個人の能力、業績、経験、および会社ニーズを基準として判断します。いかなる種類の個人的関係および差別的慣習に影響を受けた人事の決定も排除します。私たちの目標は、社員それぞれの責任、業績および経験に応じて、賃金、給与およびその他の福利厚生で社員に報いることです。オラクルはまた、適用法が定める賃金、労働時間、および就業可能な最低年齢に関するガイドラインも遵守すべく取り組んでいます。オラクルは、仕事が満足感とやりがいをもたらすように、仕事の内容を体系化する努力をしています。



レポート



コンタクト



ポリシー

## ハラスメント

皆さんは、同僚および/または社員に対して、相互の敬意と尊厳を持って接することを期待されています。オラクルのポリシーは、ハラスメントのない職場環境を提供することです。ハラスメントは、身体的なものか、口頭によるものか否か、いかなる形態であっても禁止します。ハラスメントは法律により禁止されており、またオラクルのポリシーでは社員の罵詈雑言を禁止しています。ハラスメント禁止に関するポリシーにアクセスすれば、私たちのポリシーの詳細をご覧ください。

セクシャルハラスメント、職場ハラスメント等として最も頻繁に使われている「ハラスメント」には、個人の人種、信仰、国籍、肌の色、性別、性的指向、性別認識もしくは表現、年齢、精神的もしくは身体的障がい、妊娠の有無、婚姻区分、国籍／家系、遺伝情報、支持政党、退役軍人の身分、または連邦法、州法もしくは地域条例に基づき保護されたその他の特性に基づいた嫌がらせが含まれる場合があります。

ハラスメントの実例があれば、上司、人事担当マネージャー、現地のコンプライアンス・倫理チーム、またはオラクルのインテグリティ・ヘルプラインに報告してください。皆さんの報告は、可能な限り最大限、秘密として保持されます。誠意をもって提出された報告に対する報復は黙認しません。



レポート



コンタクト



ポリシー

## 安全とセキュリティ

あなたや、臨時社員、外部請負業者、顧客、クライアント、パートナー、サプライヤーその他の人および/または財産に対する脅しまたは暴力行為は黙認しません。脅しや暴力行為の可能性があった場合、ただちにオラクルグローバル物理セキュリティチームに報告してください。このチームは、社員、企業、および資産の保護を確保するために、あらゆる局面での物理的セキュリティの定義、開発、実施、および運営を統括しています。緊急の場合は、地域の警察に連絡してください。

皆さんは、オラクルグローバル物理セキュリティが要求する情報を正確かつ完全に提供する義務があります。ここでの対応には、人もしくは財産への脅威、オラクル資産の窃盗、および個人資産の窃盗（窃盗がオラクル施設内で発生した場合）に関する調査が含まれます。オラクルの所有物の写真およびビデオ撮影は、オラクルグローバル物理セキュリティチームか、オラクルの不動産および施設を管轄する地域担当副社長のいずれかによる事前審査および書面による承認がない限り、禁止されています。

皆さんは、グローバル予算に関するポリシー（Global Badge Policy）、来訪者に関するポリシー（Visitor Policy）、および不動産・施設に対する緊急対応プラン（Real Estate and Facilities Emergency Response Plan）をよく調べ、理解しておく必要があります。

## 環境と安全衛生

オラクルは、社員、来訪者、請負業者、および一般の人の安全衛生を保護し、また私たちの事業および製品による環境への負荷を最小限に止めるようにして事業の運営に取り組んでいます。オラクルのグローバル環境、安全衛生（EHS）部門は、該当するEHS要件を遵守するため、世界中の事業部門および社員と協働しています。オラクルは、雇用者として、職場での事故や怪我を防止し、安全で衛生的な職場作りを促進する責任と義務があります。環境関連法令への不遵守の実例があれば、ただちに、皆さんが所属する現地の設備マネージャー、地域担当コンプライアンス・アンド・エシクス・オフィサー、またはオラクル・インテグリティ・ヘルプライン（法律で許可されている場合）に報告してください。

## オラクルのグローバルEHS

 [研修用ビデオをご覧ください。](#)

## 税金

私たちは、皆さんが、ストックオプションの行使から得た収入への税を含め、オラクルから得た全所得に適用されるすべての税金を支払うことを期待しています。



レポート



コンタクト



ポリシー

# オラクルと顧客

オラクルの繁栄は、オラクルの顧客に対する貢献度に、また貢献度のみには比例しません。市場でのオラクルの訴求内容は、私たちの製品／サービスの品質、私たちの製品／サービスが適正値付けで顧客に価値を提供しているとの評価、ならびに私たちの製品および販売プレゼンテーションの能力や誠実性に基づいたものでなければなりません。それゆえに、私たちが重点的に取り組むのは、顧客に満足感を与えること、顧客のニーズを予想すること、顧客のニーズにレスポンスであることです。



レポート



コンタクト



ポリシー

# オラクルとパートナー

オラクルとパートナーは一体となることによって、世界中の顧客に業界をリードするソリューションとサービスを提供しています。この水準は、パートナーの協力の下にのみ達成することができます。オラクルは、パートナーに対して、公正かつ倫理的な事業展開、世界中にある腐敗行為防止関連法の遵守、オラクルからの情報提供要求への協力、および不正行為（たとえ不正を行っているかのように見えるだけの行動であっても）への関与の回避を求めています。私たちは、パートナーが「オラクルパートナーの倫理とビジネス行動規範」（Oracle Partner Code of Ethics and Business Conduct）の基準を忠実に守ることを要求します。私たちはまた、パートナーがすべての適用法令を遵守することを求めています。パートナーには、懸念をインテグリティ・ヘルプラインに報告することを推奨します。



レポート



コンタクト



ポリシー

# オラクルとサプライヤー

私たちは、サプライヤーとオープンで率直な取引を維持しており、相互に利益のある関係を発展させるよう努めています。オラクルは、サプライヤーに対して、公正かつ倫理的な事業展開、世界中にある腐敗行為防止関連法の遵守、オラクルからの情報提供要求への協力、および不正行為（たとえ不正を行っているかのように見えるだけの行動であっても）への関与の回避を求めています。オラクルは、サプライヤーが「オラクルサプライヤーの倫理とビジネス行動規範」（Oracle Supplier Code of Ethics and Business Conduct）を忠実に守ることを要求します。また、私たちは、サプライヤーが適用されるすべての法令を遵守し、サプライヤーが提供するすべての商品・サービスがすべての適用される法的規準に確実に合致させることを期待しています。サプライヤーには、懸念をインテグリティ・ヘルプラインに報告することを推奨します。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 執行



# 調査プロセス

オラクルは、正確性、適格性、公平性、および関与するすべての当事者を尊重することを重視した内部調査プロセスを維持するよう取り組んでいます。皆さんの地域のコンプライアンス・アンド・エクス・オフィサーは、不正行為の申し立てに対する調査の指導を含め、ビジネス行動および倫理に対する懸念への対応を統括しています。調査は、適用される法律およびオラクル・ポリシーに従いまたすべての当事者が倫理的で公正な扱いを受けるような方法で実施されます。

オラクルは、調査実施時には、それに適用される法律を遵守します。調査方法には、適用される法律で許容されまた妥当な範囲で、関係者および立会人との面談、関連する財務記録、電子的記録、およびその他記録の確認、公開された情報の確認、ならびにコンピュータ、システム、オフィス、およびその他のリソースの監視および/またはその分析が含まれます。



レポート



コンタクト



ポリシー

CHOOSE  
YOUR CLOUD  
✓ PUBLIC CLOUD  
✓ CLOUD AT CUSTOMER  
ORACLE  
CLOUD

皆さんには、調査に全面的に協力し、調査過程での情報、面談、または文書の提出要求のすべてに、迅速かつ全面的に、また真摯に従う義務があります。オラクルは、可能な限り、不正行為の申し立てに関する報告を秘密として取り扱い、知る必要がある人のみに調査状況を知らせ、その調査に関与させます。オラクル・コーポレーションのジェネラル・カウンセル、チーフ・コンプライアンス・アンド・エシクス・オフィサー、地域担当コンプライアンス・アンド・エシクス・オフィサー、またはコンプライアンス・オフィサーの被指名人のみが、行動規範の違反に関連した行動規範の調査を開始することができます。不正行為およびそれに関連する調査記録の報告書はすべて、社内プライバシーポリシーおよび情報保護ポリシーに従って取り扱われます。これらポリシーはいずれも法務部ウェブサイトでご覧することができます。

立証できない申し立ては、不正行為を主張された社員には何の影響も与えません。また、誠意をもって懸念を報告した社員またはコンプライアンス調査に協力した社員に対する報復は黙認しません。オラクルは、不正行為の発生が明らかになった調査に関して、調査プロセスで立証された行為に対する懲戒処分および矯正措置の適用を検討します。さらに、オラクルは、民事または刑事上の違反を関連当局に報告する場合があります。



レポート



コンタクト



ポリシー

# 関連ポリシーおよびウェブサイト

次に列挙するのは、行動規範で対象となるポリシーおよび有益と思われる追加関連資料です。

## 慈善寄付

現金寄付に関するポリシー

## 利益相反

グローバル利益相反に関するポリシー

利益相反開示書式

## 契約

文書署名権限に関するポリシー

オラクルのグローバルソース・ツー・セトルに関するポリシー

オラクルのグローバルな支出承認に関するポリシー

## 企業の社会的責任

コーポレートシチズンシップレポート

オラクルアカデミー

オラクル教育財団

オラクルの環境に関するポリシー

オラクル人身取引および奴隷制度対策に関するポリシー

オラクル持続可能な調達に関する声明

オラクルのボランティア

人権に関する声明書

持続可能性

## 経済ボイコット

外国経済ボイコットに関するポリシー

## 財務上の健全性

コミュニケーション禁止期間

オラクルの収益認識に関するポリシー

## 政府および公共部門

腐敗防止ポリシーおよび接待に関するガイドライン

オラクルの政府業務ウェブサイト

政府との取引に関する補足ポリシー

## 知的財産

著作権遵守ポリシー

社員専有情報に関する契約

情報保護ポリシー

特許コミュニケーションおよび検索に関するポリシー

## オラクルと社員

ハラスメント禁止に関するポリシー

コンプライアンス・倫理ウェブサイト

グローバル予算に関するポリシー

グローバル人事ウェブサイト

パートナーとの協働に関するガイドライン

会議・イベント事前承認に関するガイドライン  
(Meeting and Events Pre-Approval Guidance)

オラクルのコーポレート・ガバナンスに関するガイドライン

オラクルグローバル物理セキュリティ

オラクルのグローバル出張・経費に関するポリシー

オラクルのパートナー起用に関するガイドライン

不動産および施設

不動産・施設に対する緊急対応プラン

米国輸出入管理

来訪者に関するポリシー

## 機密情報の保護

個人情報の追加利用に関するポリシー (Additional Use of Personal Information Policy)

電話のモニター・記録に関するポリシー (Call Monitoring and Recording Policy)

コーポレートセキュリティウェブサイト

電子的手段によるマーケティングおよび顧客とのコミュニケーションに関するポリシー (Electronic Marketing and Customer Communications Policy)

グローバル情報セキュリティ

グローバル物理セキュリティ

社内プライバシーポリシー

オラクルの報道機関およびアナリストとのコミュニケーションに関するポリシー

## 記録保存

コーポレート記録保存期間

リーガルホールド通知

オラクル記録保存に関するポリシー

## 証券およびインサイダー取引

インサイダー取引に関するポリシー

## ソーシャルメディア

ソーシャルメディア参加に関するポリシー

## 倫理規範補足

倫理とビジネス行動規範に関する規程

サプライヤーの倫理とビジネス行動規範

## 商取引コンプライアンス

グローバル商取引コンプライアンスウェブサイト

武器国際取引に関する規則 (ITAR) へのコンプライアンスに関するポリシー

## オラクル・リソースの利用

会社リソース利用規約

# リソース

オラクルは、皆さんがコンプライアンスおよび倫理にかかわる状況に対応する手助けをするために多様なリソースを提供しています。

## コンプライアンス・倫理

コンプライアンス・倫理チーム

人事部

インテグリティ・ヘルプライン

法務部メンバー

# Oracle Corporation

## 本社

2300 Oracle Way

Austin, TX

78741

U.S.A.

## 問い合わせ先

電話番号

+1.650.506.7000

+1.800.ORACLE1

ファックス番号

+1.650.506.7200

[oracle.com](https://www.oracle.com)

Copyright © 2024, Oracle and/or its affiliates. 無断複写・転載を禁じます。米国で発行。本書は情報提供のみを目的として提供。この内容は予告なく変更されることがあります。私たちは、本書に関するいかなる責任も明確に放棄し、直接的にも間接的にも本書により一切の契約上の義務は発生しません。本書は、いかなる形態または電氣的か機械的にかにかかわらずいかなる手段によっても、私たちの書面による事前許可がない限り、いかなる目的であっても再生することはできません。オラクルは、Oracle Corporationおよび/またはその関係会社の登録商標です。その他の名称は、そのそれぞれの所有者の商標である場合があります。